

最近の交通事故発生状況

第1回「安全対策フォローアップ分科会」

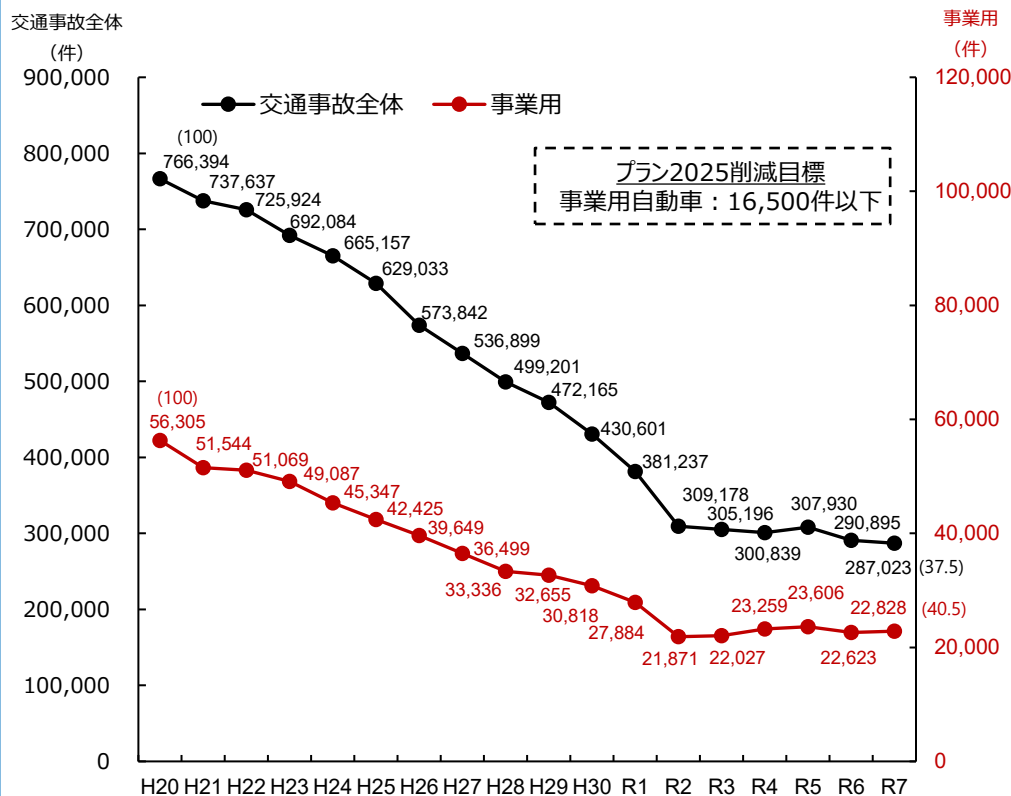
事業用自動車による交通事故件数の推移

○ 令和7年中に発生した交通事故全体の件数(人身事故件数)は287,023件、そのうち、事業用自動車の交通事故件数※1は22,828件であった。 ※1 事業用自動車が第一当事者である人身事故件数

○ 令和元年※2と比較して令和7年の交通事故件数は軽貨物以外の全モードにおいて減少している。

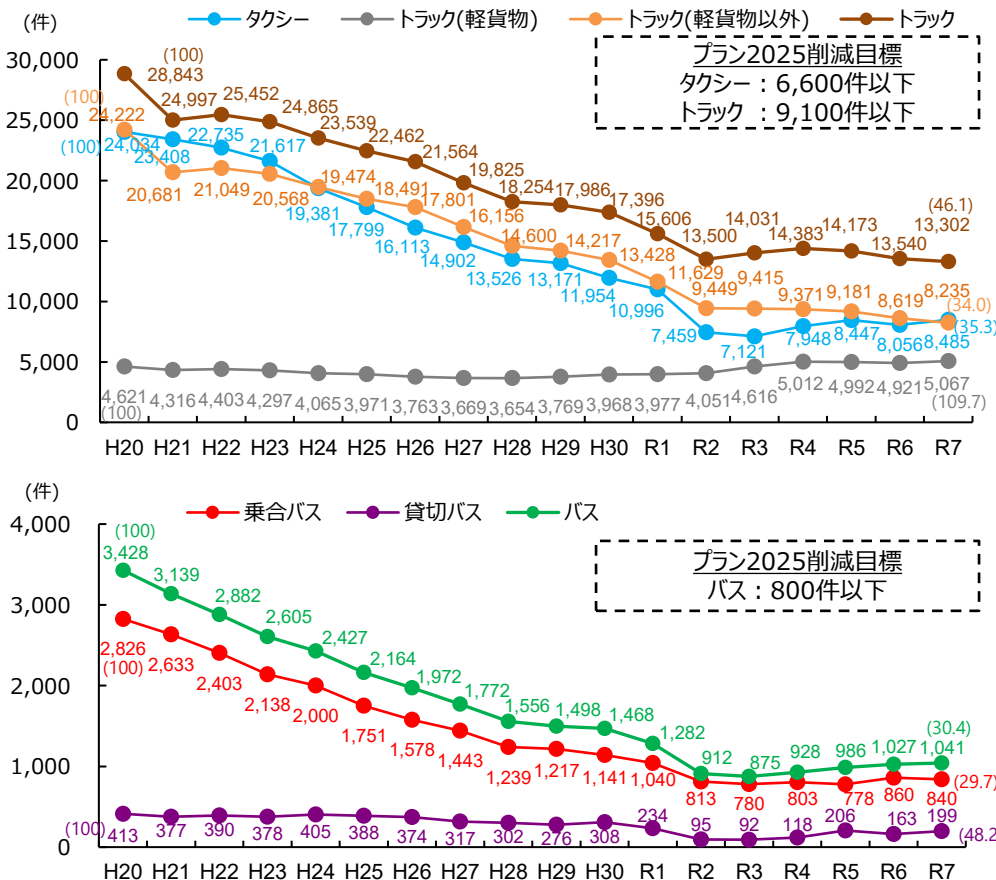
※2 プラン2025より前の年であって、コロナ禍の影響がなかった直近の年

交通事故全体と事業用自動車の交通事故の推移



出典：警察庁「令和7年中の交通事故の発生状況」
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

各モードの交通事故の推移

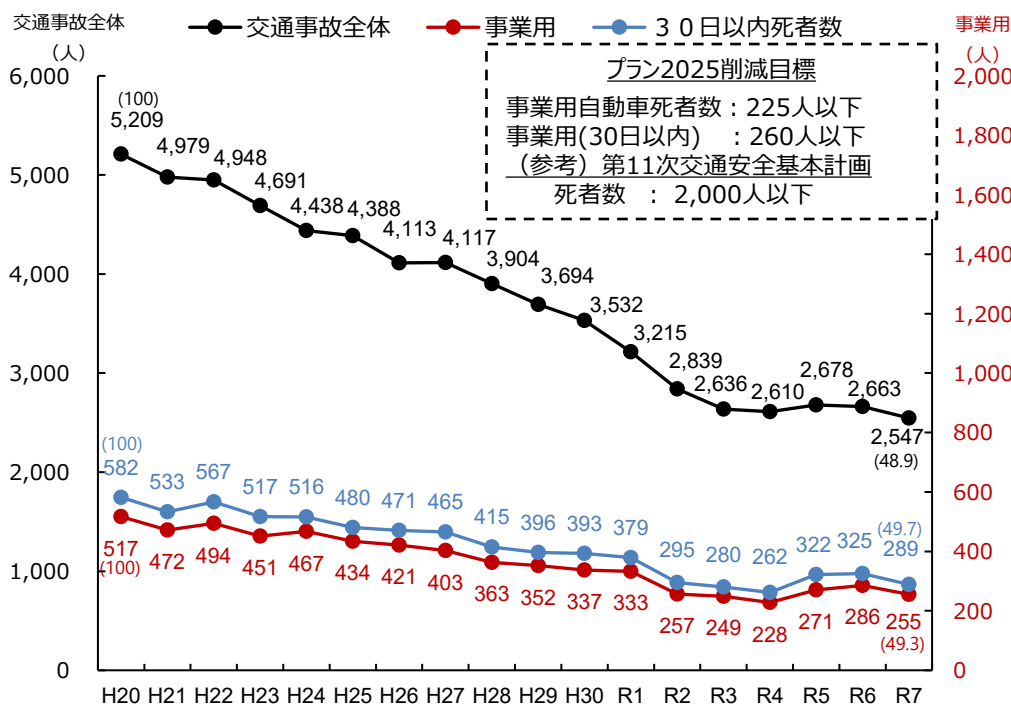


出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

事業用自動車による交通事故死者数の推移

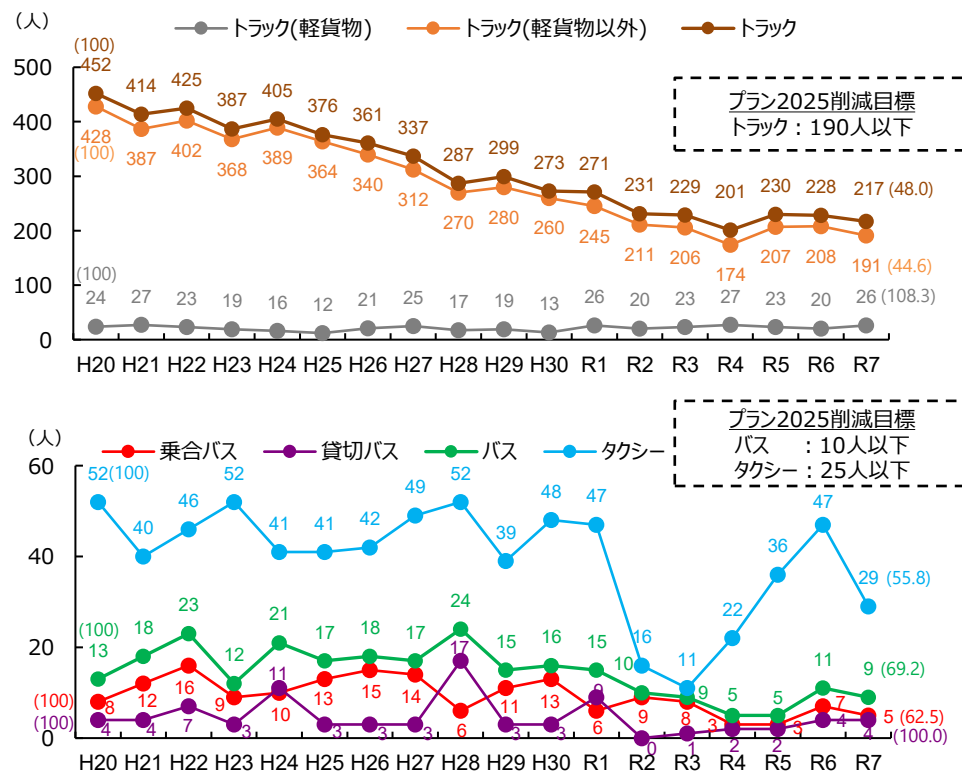
- 令和7年中に発生した交通事故全体の死者数は2,547人であり、そのうち、事業用自動車の交通事故死者数は255人（前年比31人減）であった。
- 令和元年と比較して令和7年の交通事故死者数は、軽貨物以外の全モードにおいて減少している。

交通事故全体と事業用自動車の交通事故死者数の推移



出典：警察庁「令和7年中の交通事故の発生状況」
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

各モードの交通事故死者数の推移

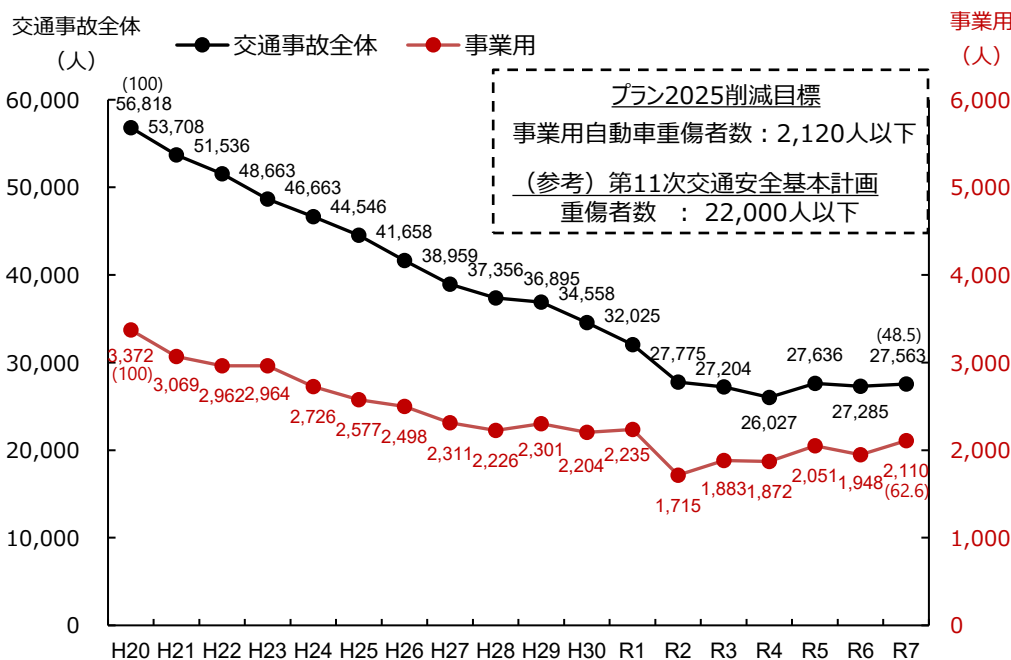


出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

事業用自動車による交通事故重傷者数の推移

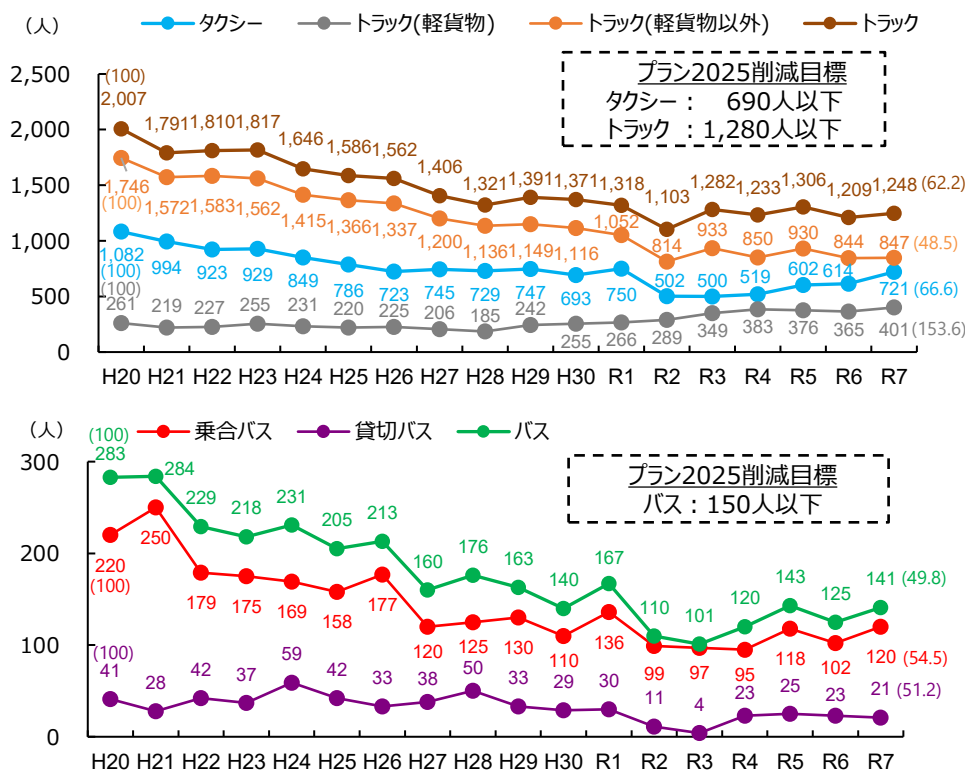
- 令和7年中に発生した交通事故全体の重傷者数は27,563人であり、そのうち、事業用自動車の交通事故重傷者数は2,110人（前年比162人増）であった。
- 令和元年と比較して令和7年の交通事故重傷者数は軽貨物以外の全モードにおいて減少している。

交通事故全体と事業用自動車の交通事故重傷者数の推移



出典：警察庁「令和7年中の交通事故の発生状況」
(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

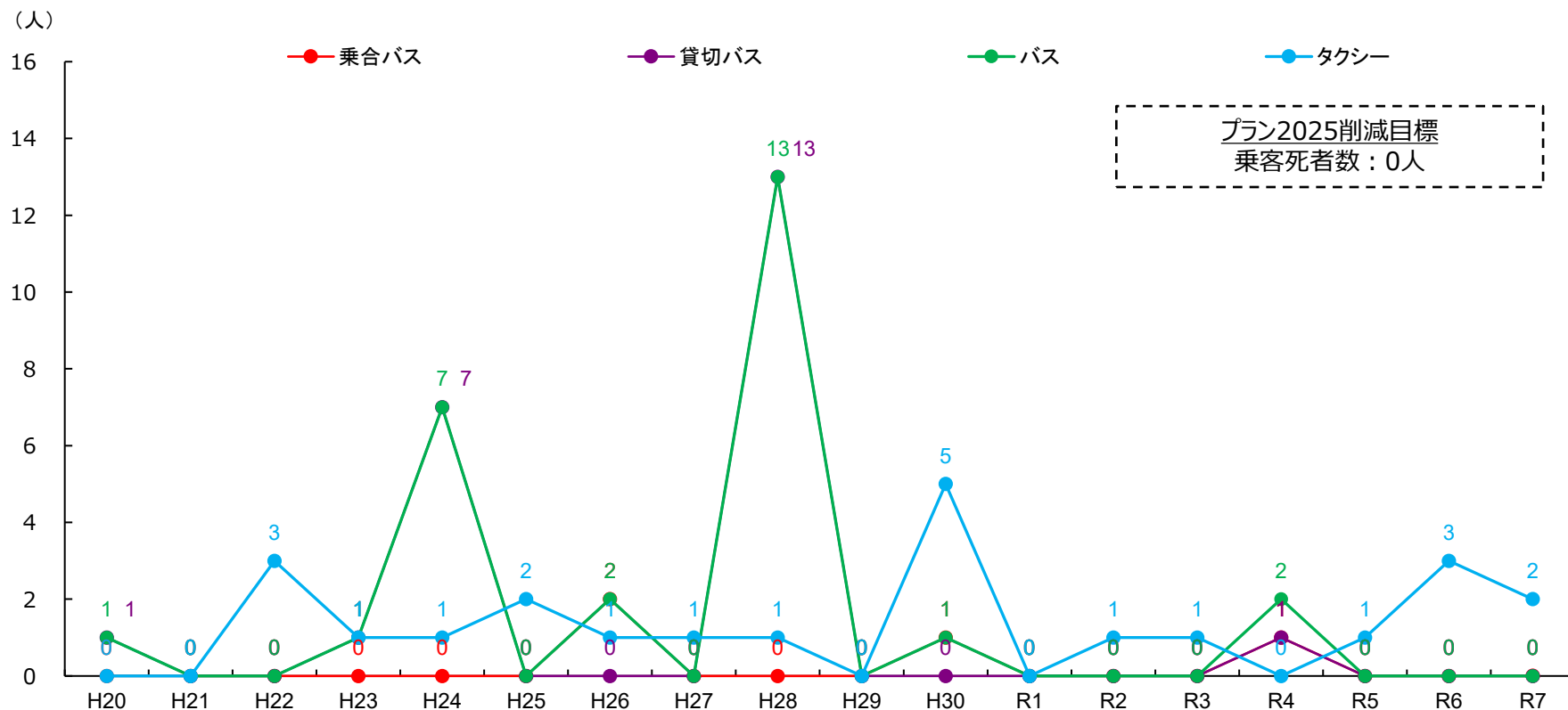
各モードの交通事故重傷者数の推移



出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

- 令和7年のバスによる乗客死者数は0人、タクシーによる乗客死者数は2人であった。
- バス、タクシーともに年によって乗客死者数が0人となっている。

バス、タクシーによる乗客死者数の推移

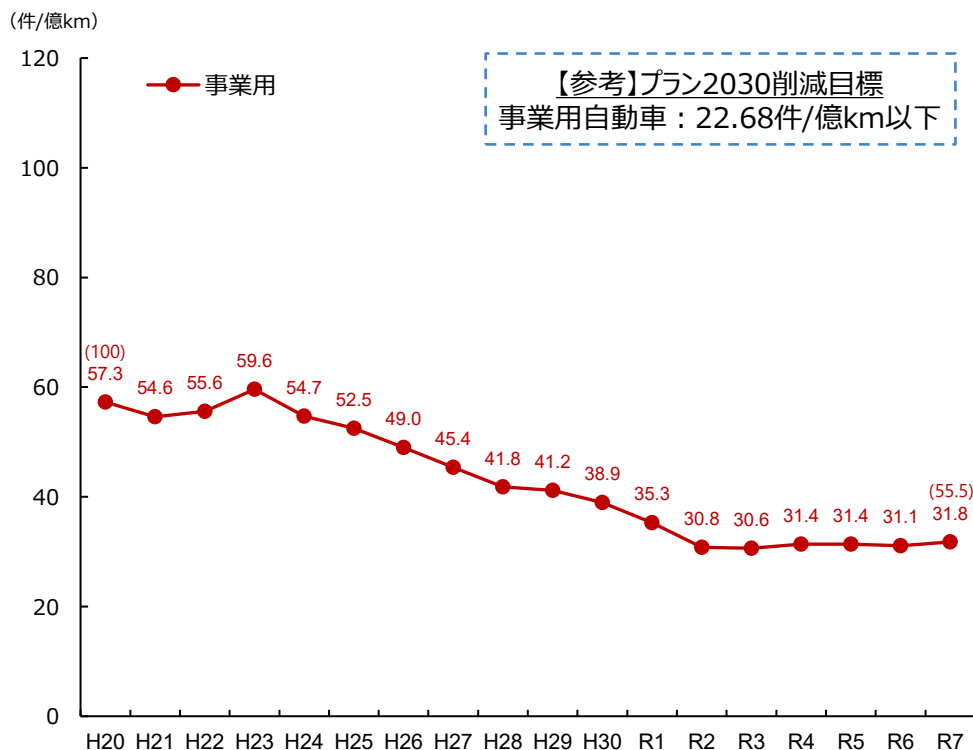


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

事業用自動車による走行距離1億キロあたりの交通事故の推移

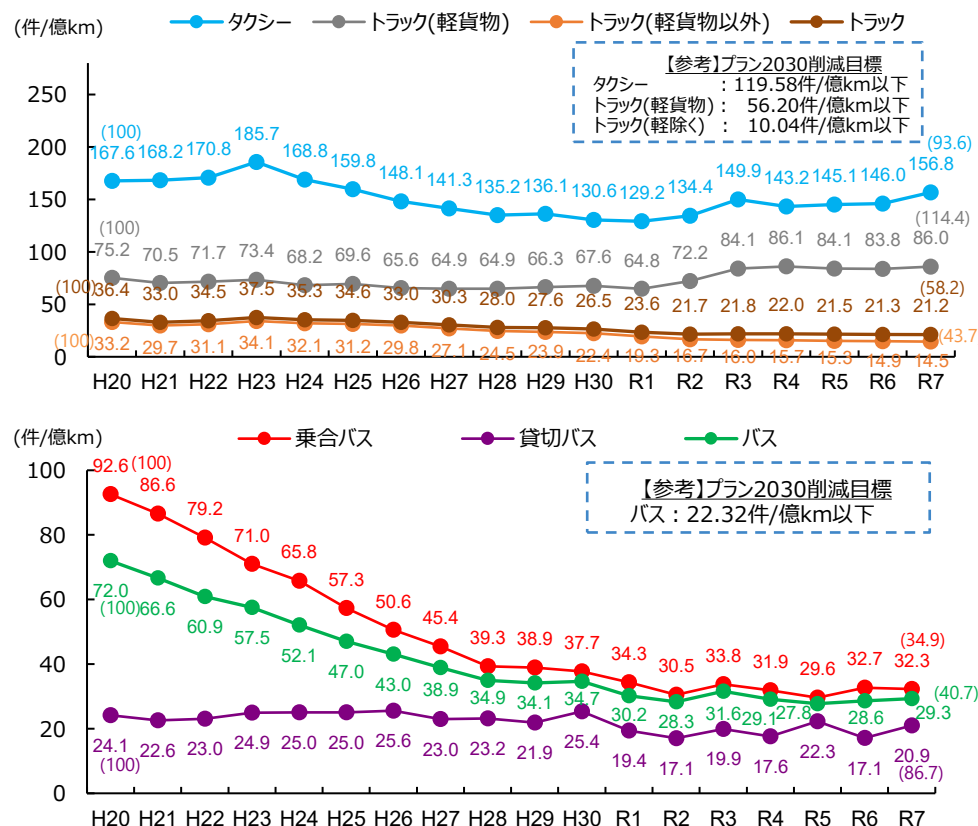
- 令和7年における事業用自動車による走行距離1億キロあたりの交通事故件数は31.8件/億kmであった。
- 令和元年と比較して令和7年の走行距離1億キロあたりの交通事故件数は、タクシー、軽貨物、貸切バスにおいて増加している。

事業用自動車の走行距離1億キロあたりの交通事故の推移



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

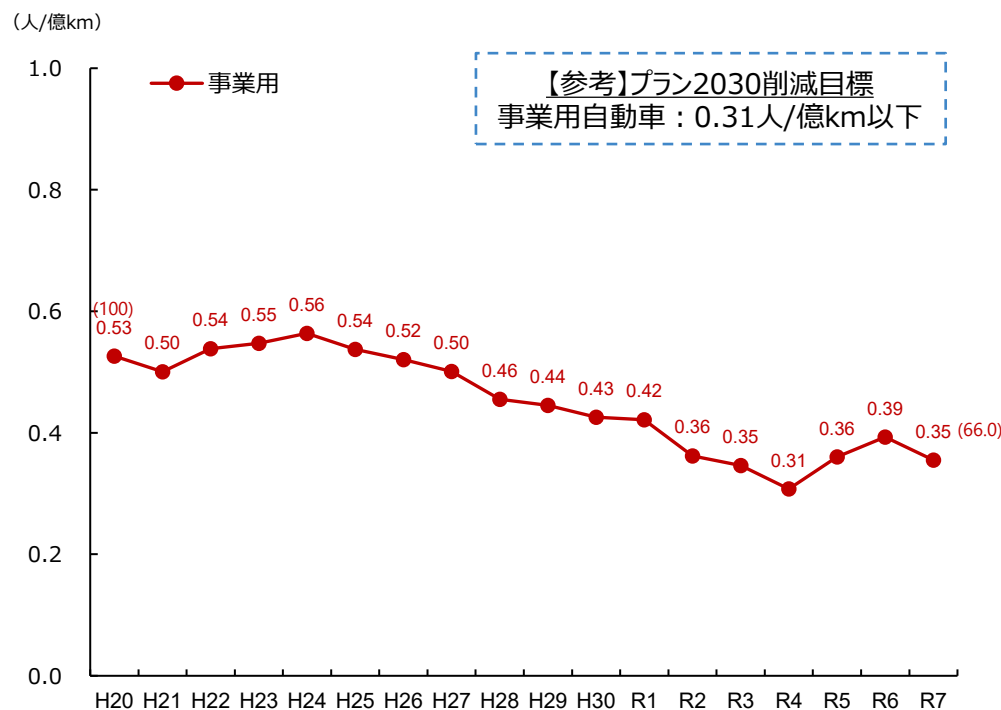
各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故の推移



出典：(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

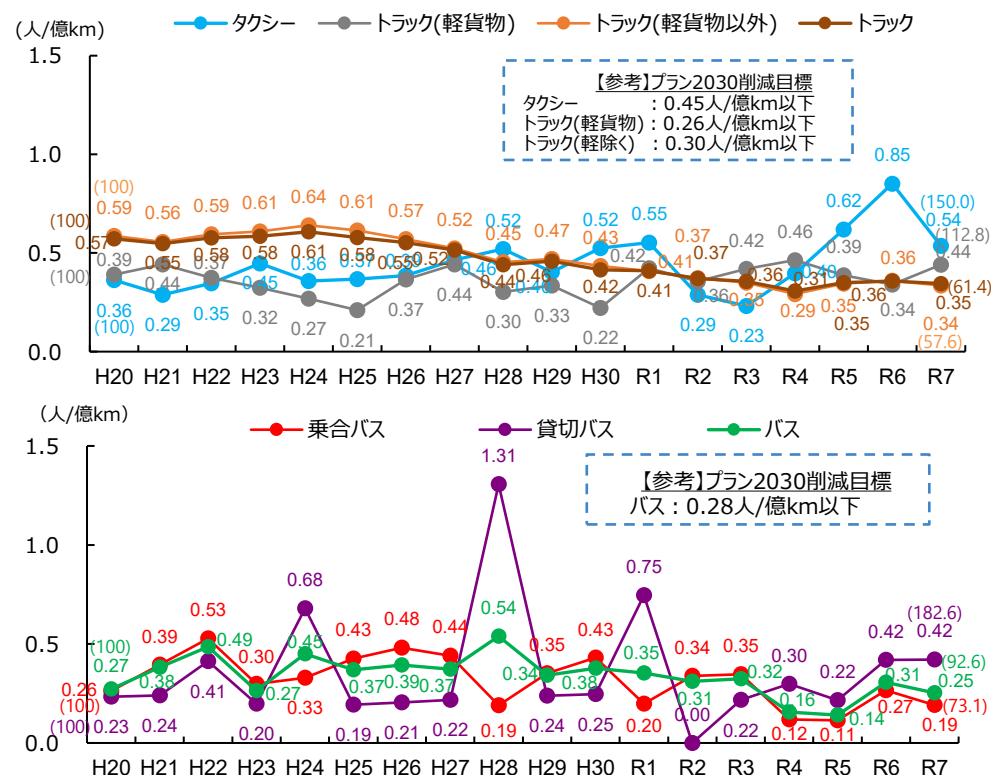
- 令和7年における事業用自動車による走行距離1億キロあたりの交通事故死者数は0.35人/億kmであった。
- 令和元年と比較して令和7年の走行距離1億キロあたりの交通事故死者数は、軽貨物において増加している。

事業用自動車の走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

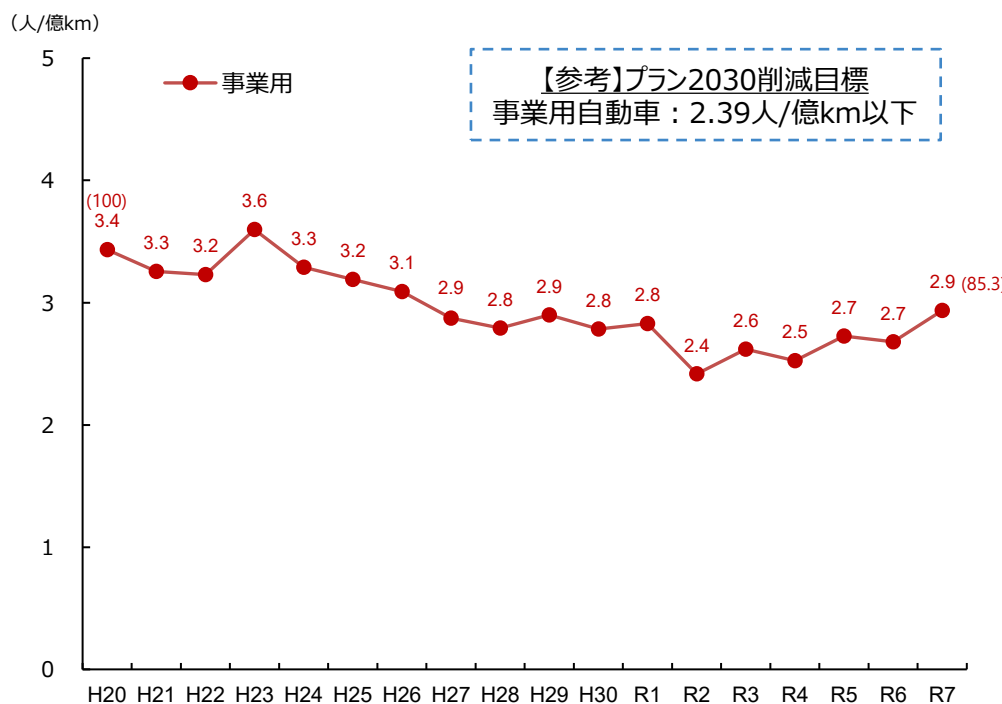
各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故死者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

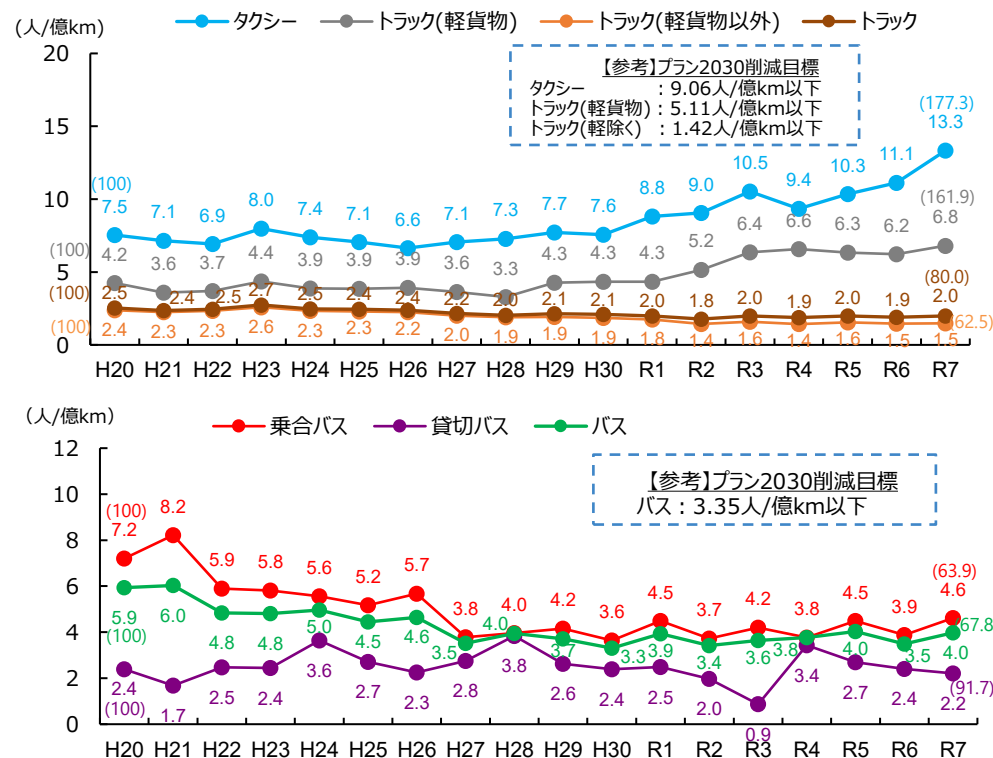
- 令和7年における事業用自動車による走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数は2.9人/億km。
- 令和元年と比較して令和7年の走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数は、タクシー、軽貨物、乗合バスにおいて増加している。

事業用自動車の走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

各モードの走行距離1億キロあたりの交通事故重傷者数の推移

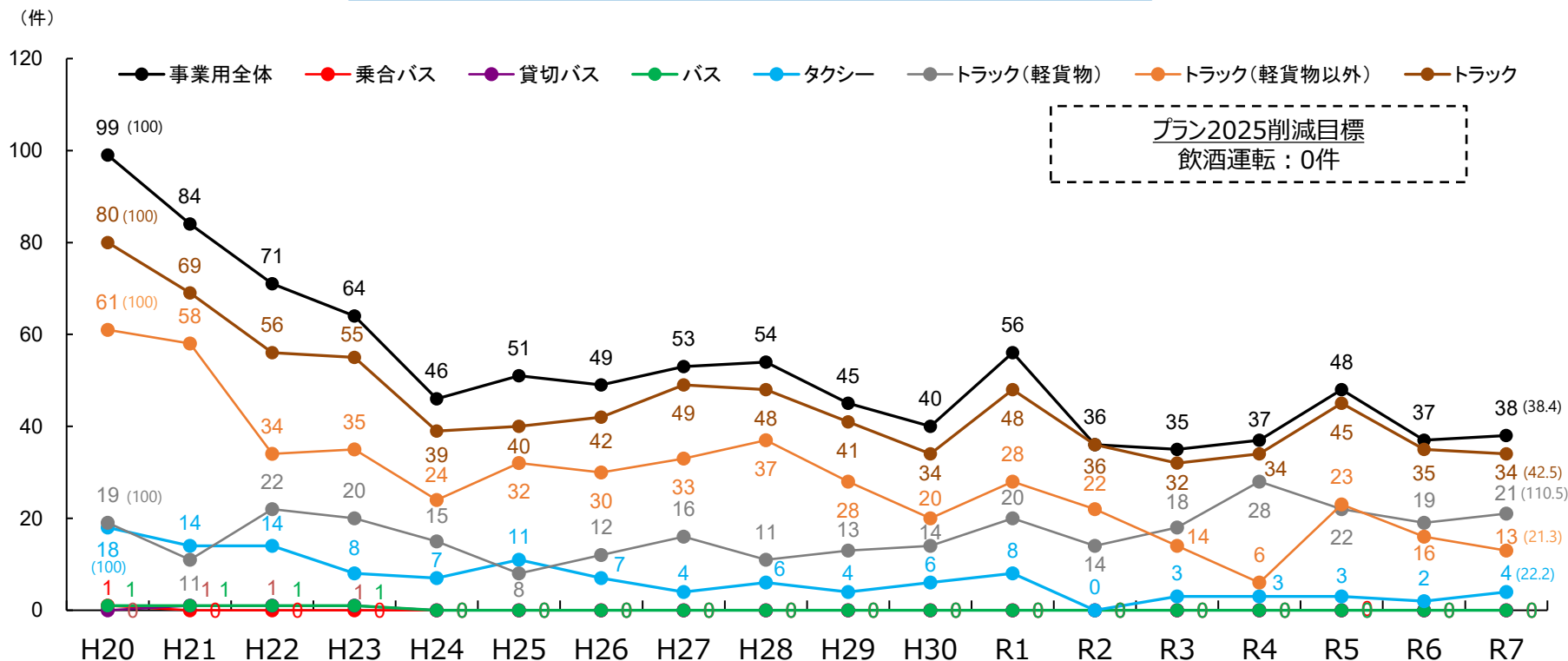


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

事業用自動車による飲酒運転事故件数の推移

- 事業用自動車による令和7年の飲酒運転事故件数は38件で、その内34件がトラックにおける事故。
- 令和元年と比較して令和7年の飲酒運転事故件数は、軽貨物以外の全モードで減少している。

飲酒運転による事業用自動車の交通事故

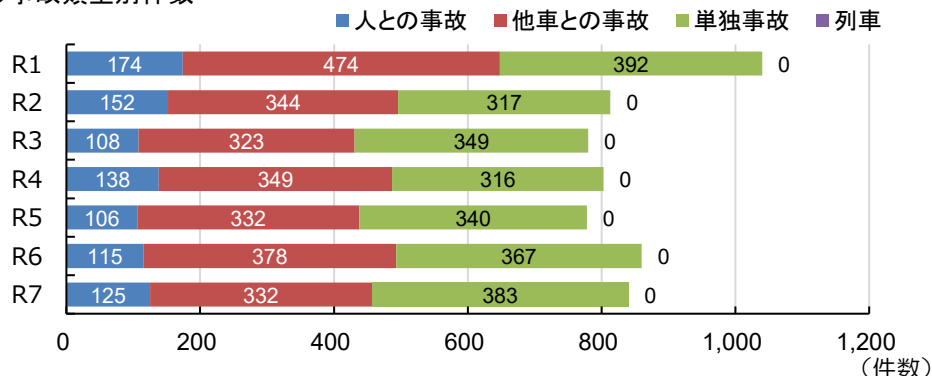


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

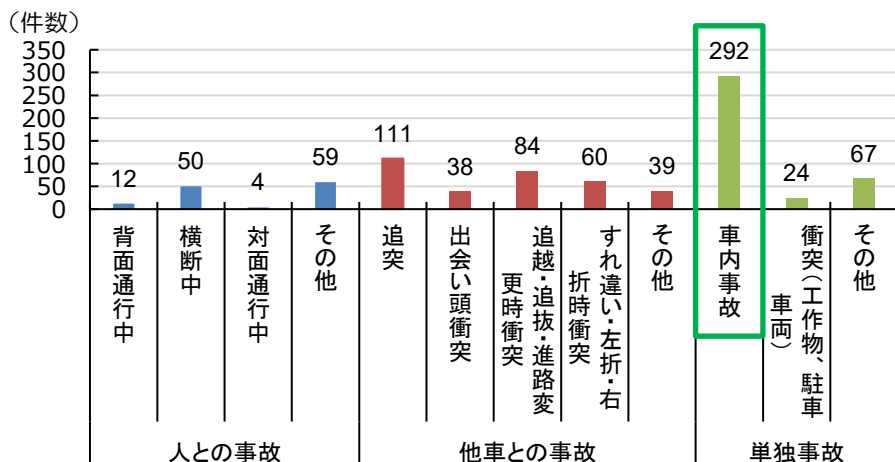
- 乗合バスの事故類型としては、「車内事故」が全体の約3割強にあたる292件発生しており、最多。ただし、車内事故による死亡事故は発生していない。
- 乗合バスの死亡事故類型としては、「横断中」などの人との事故が多い。

乗合バスの事故類型

○事故類型別件数

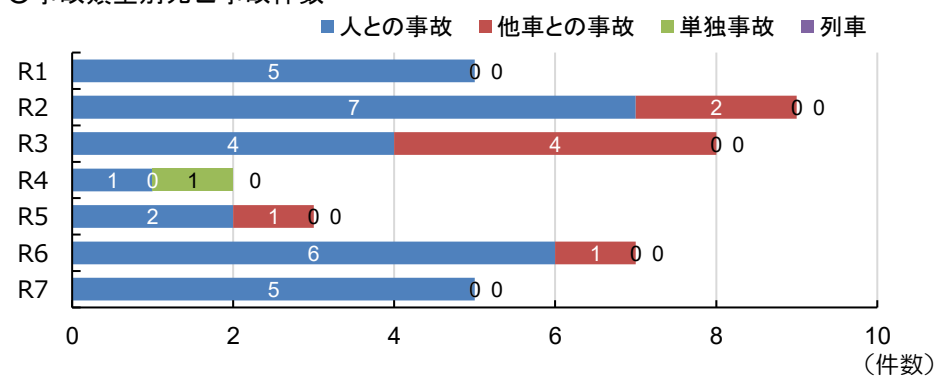


○令和7年事故類型別事故件数の内訳

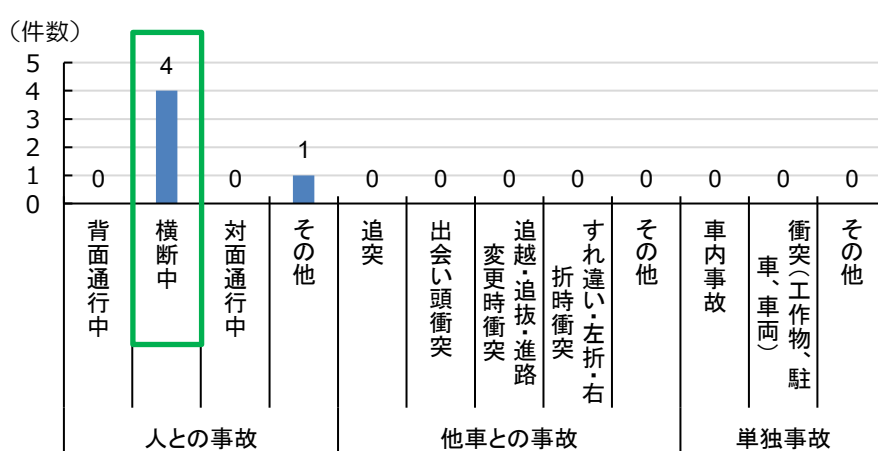


乗合バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数

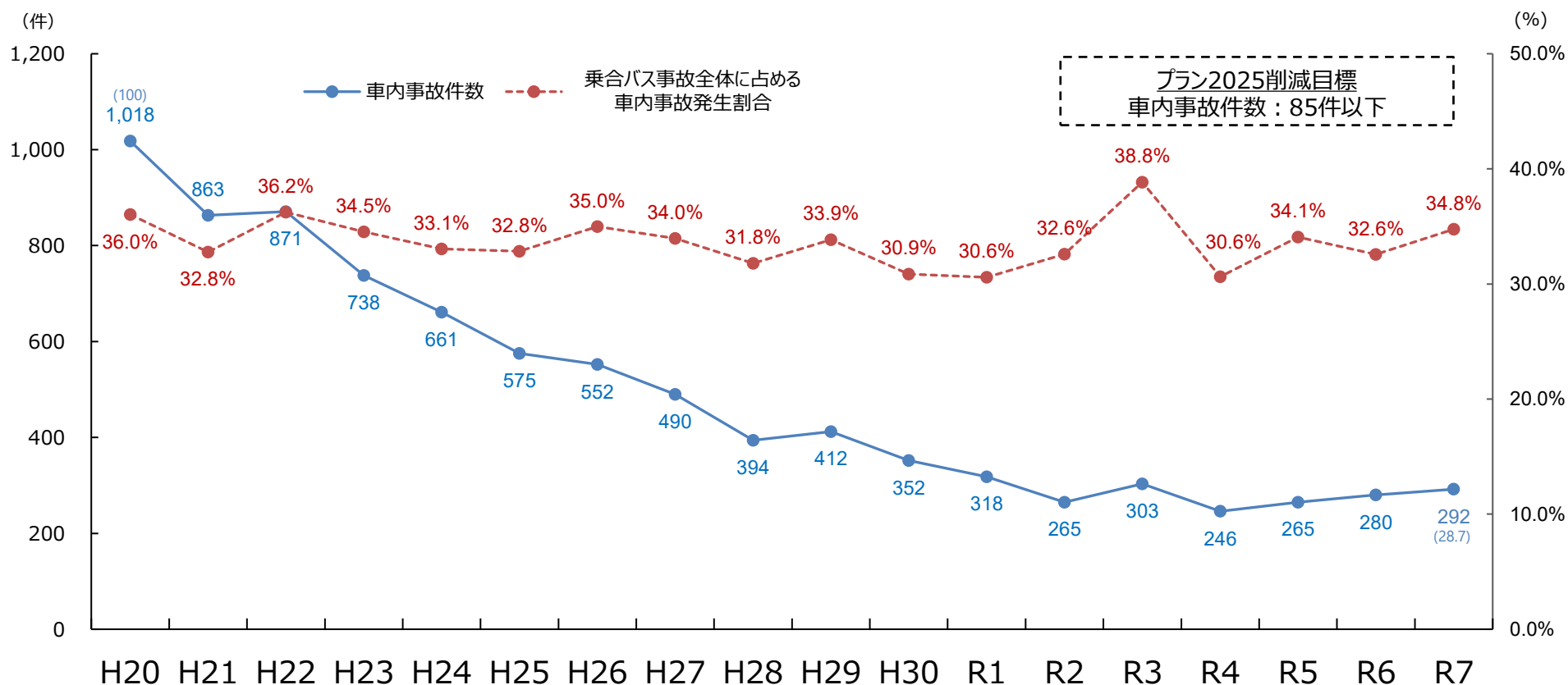


○令和7年事故類型別死亡事故件数の内訳



- 乗合バスによる令和7年の車内事故件数は292件で、令和元年と比較して26件減であった。
- 乗合バス事故全体に占める車内事故件数の令和7年の割合は34.8%で、令和元年と比較して4.2pt増であった。

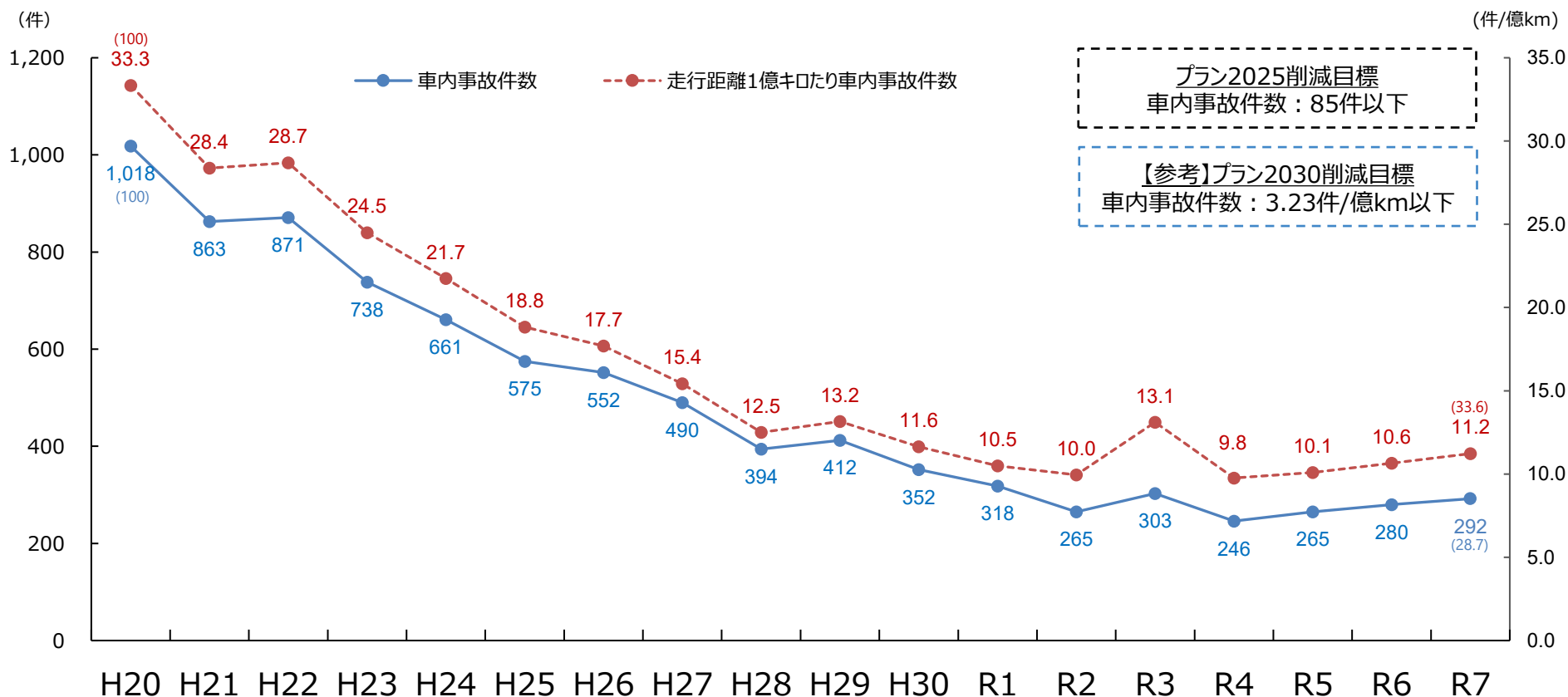
乗合バスによる車内事故件数と発生割合



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

- 乗合バスによる令和7年の走行距離1億キロあたりの車内事故件数は11.2件/億kmであった。
- 令和元年と比較して令和7年の走行距離1億あたりの車内事故件数は、0.7件/億km増加した。

乗合バスによる車内事故件数と
走行距離1億キロあたりの車内事故件数の推移

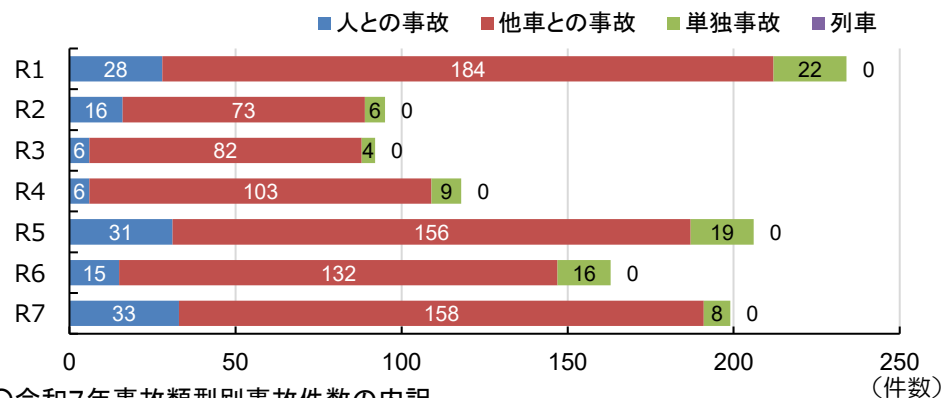


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

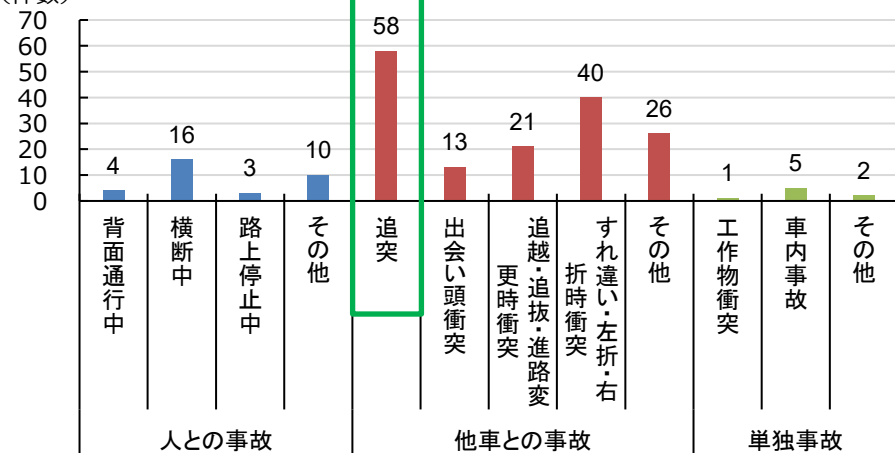
- 貸切バスの事故類型としては、「追突」が全体の約3割にあたる58件発生しており、最多。ただし、追突による死亡事故は発生していない。
- 貸切バスの死亡事故類型としては、他車との事故が多い。

貸切バスの事故類型

○事故類型別件数

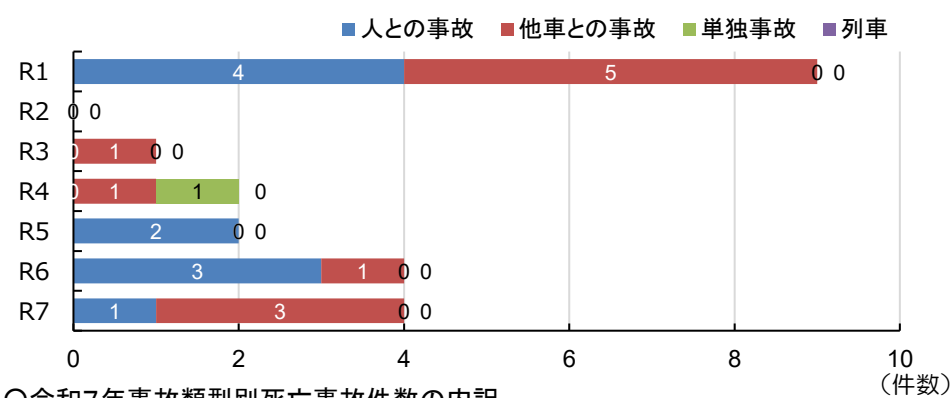


○令和7年事故類型別事故件数の内訳
(件数)

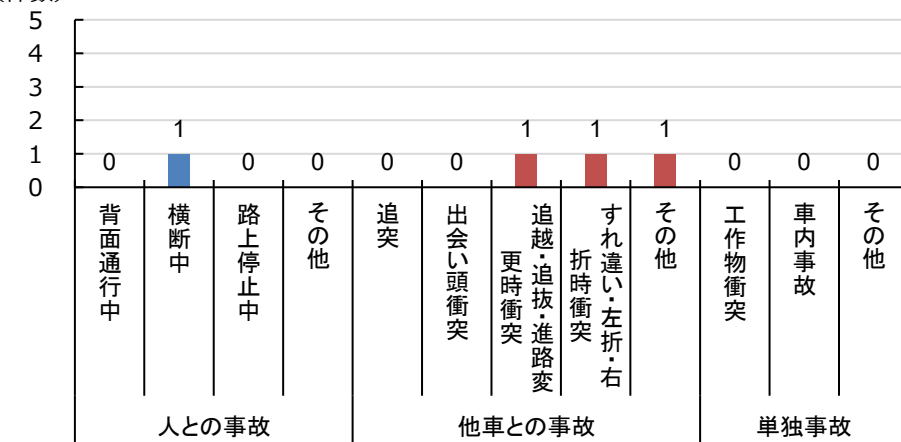


貸切バスの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数

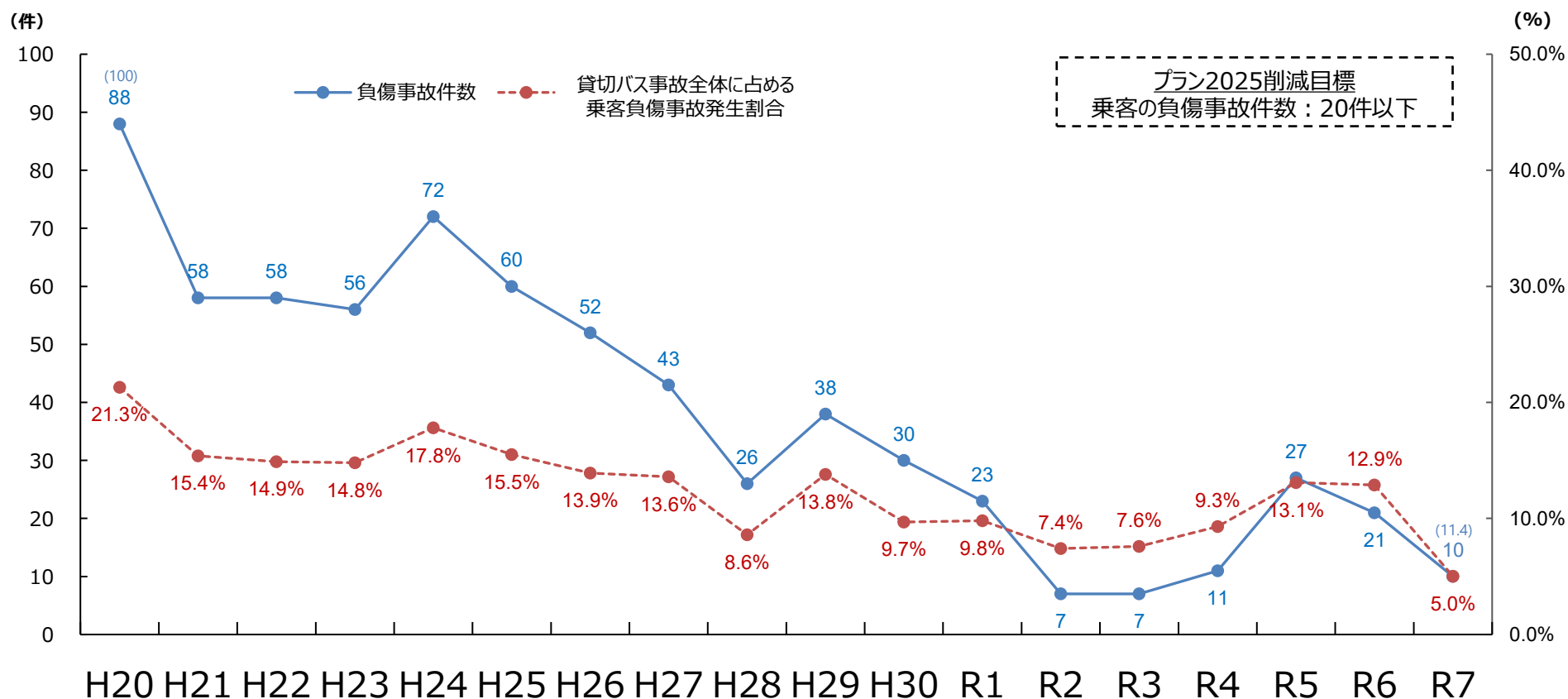


○令和7年事故類型別死亡事故件数の内訳
(件数)



- 貸切バスによる令和7年の乗客負傷事故件数は10件で、令和元年と比較して13件減であった。
- 貸切バス事故全体に占める乗客負傷事故件数の令和7年の発生割合は5.0%で、令和元年と比較して4.8pt減であった。

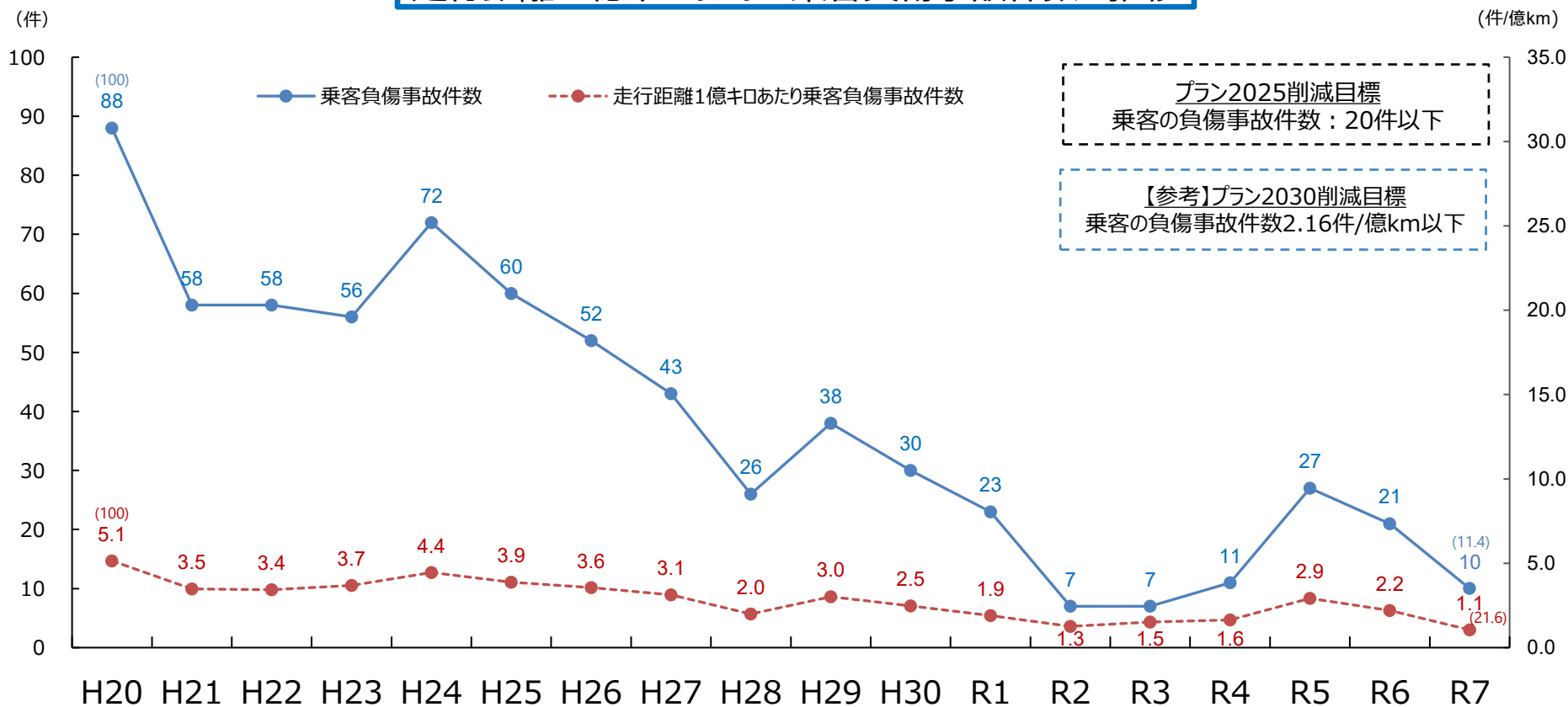
貸切バスによる乗客負傷事故件数と発生割合



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

- 貸切バスによる令和7年の走行距離1億キロあたりの乗客負傷事故件数は1.1件/億kmであった。
- 令和元年と比較して令和7年の走行距離1億あたりの乗客負傷事故件数件数は、0.8件/億km減少した。

貸切バスによる乗客負傷事故件数と
走行距離1億キロあたりの乗客負傷事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

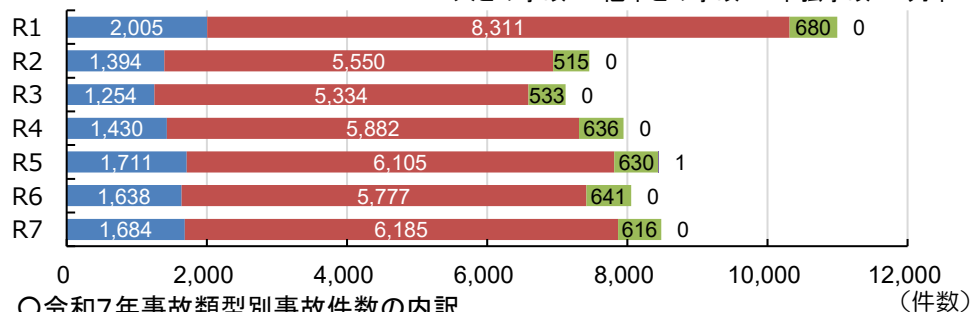
業態別の特徴的な事故(タクシー)

- タクシーの事故類型としては、「出会い頭衝突」、「追突」の順に多い。「出会い頭衝突」、「追突」による死亡事故も3件発生している。
- タクシーの死亡事故類型としては、人との事故、特に「路上横臥中」が最も多い。

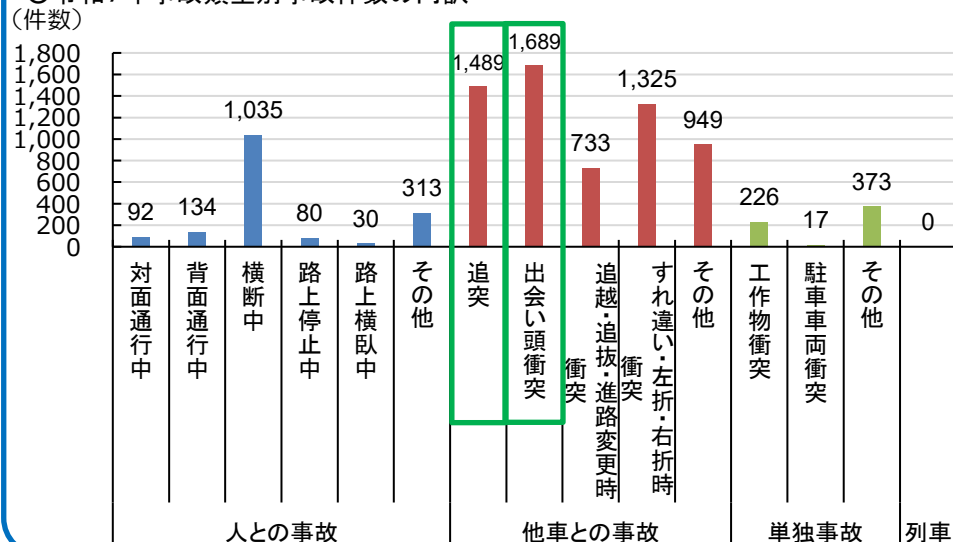
タクシーの事故類型

○事故類型別件数

■人との事故 ■他車との事故 ■単独事故 ■列車



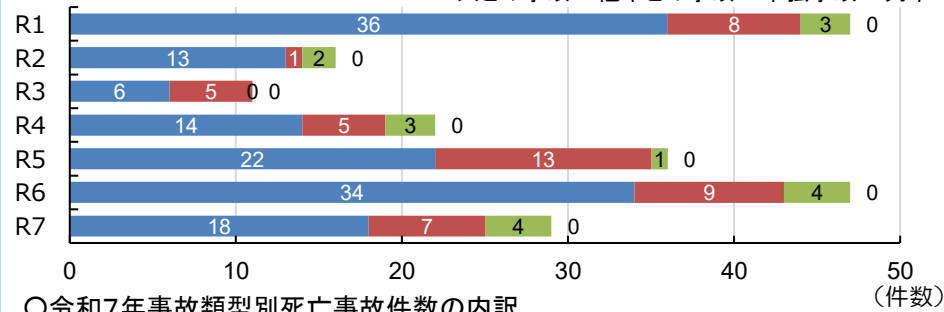
○令和7年事故類型別事故件数の内訳



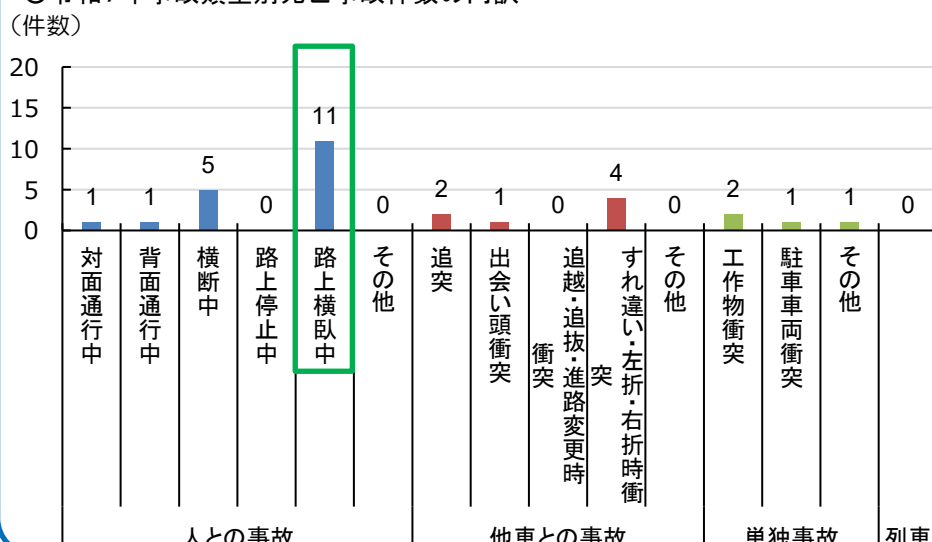
タクシーの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数

■人との事故 ■他車との事故 ■単独事故 ■列車



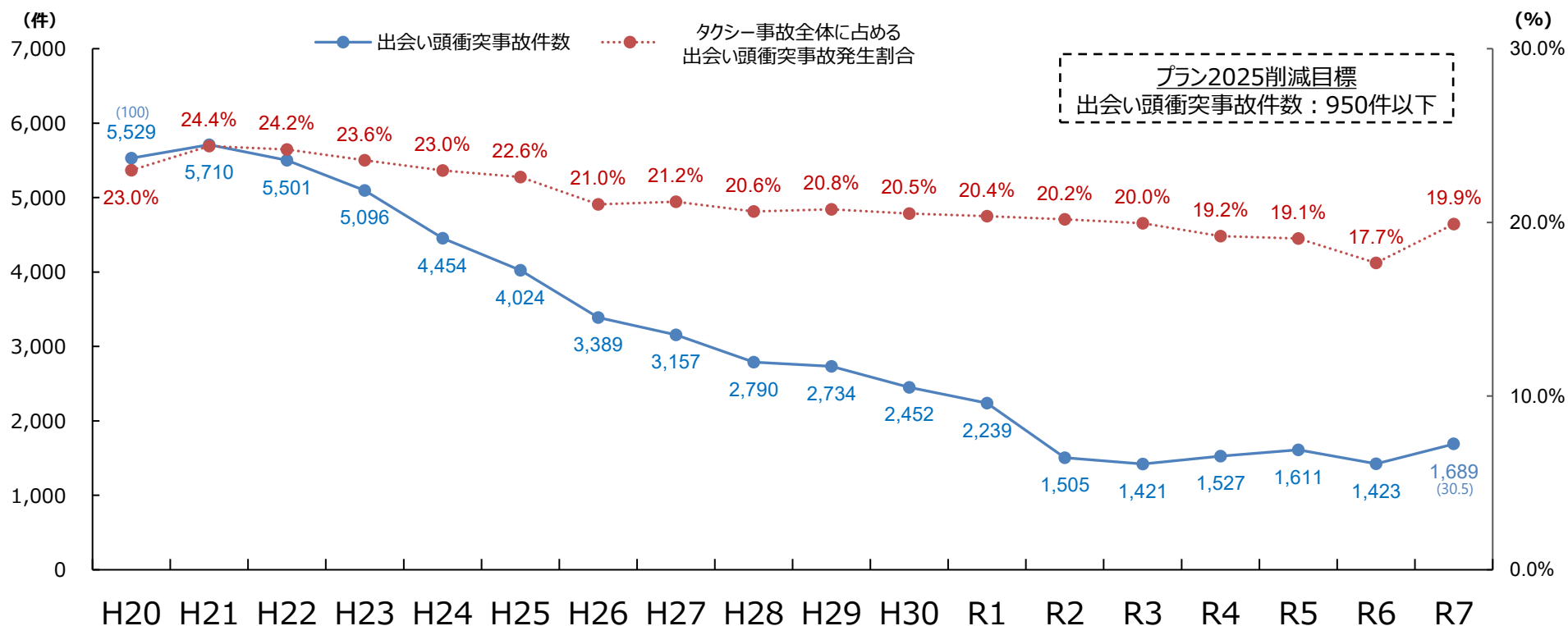
○令和7年事故類型別死亡事故件数の内訳



タクシーによる出会い頭衝突事故件数の推移

- タクシーによる令和7年の出会い頭衝突事故件数は1,689件で、令和元年と比較して550件減であった。
- タクシー事故全体に占める出会い頭衝突事故件数の令和7年の発生割合は19.9%で、令和元年と比較して0.5pt減であった。

タクシーによる出会い頭衝突事故件数と発生割合

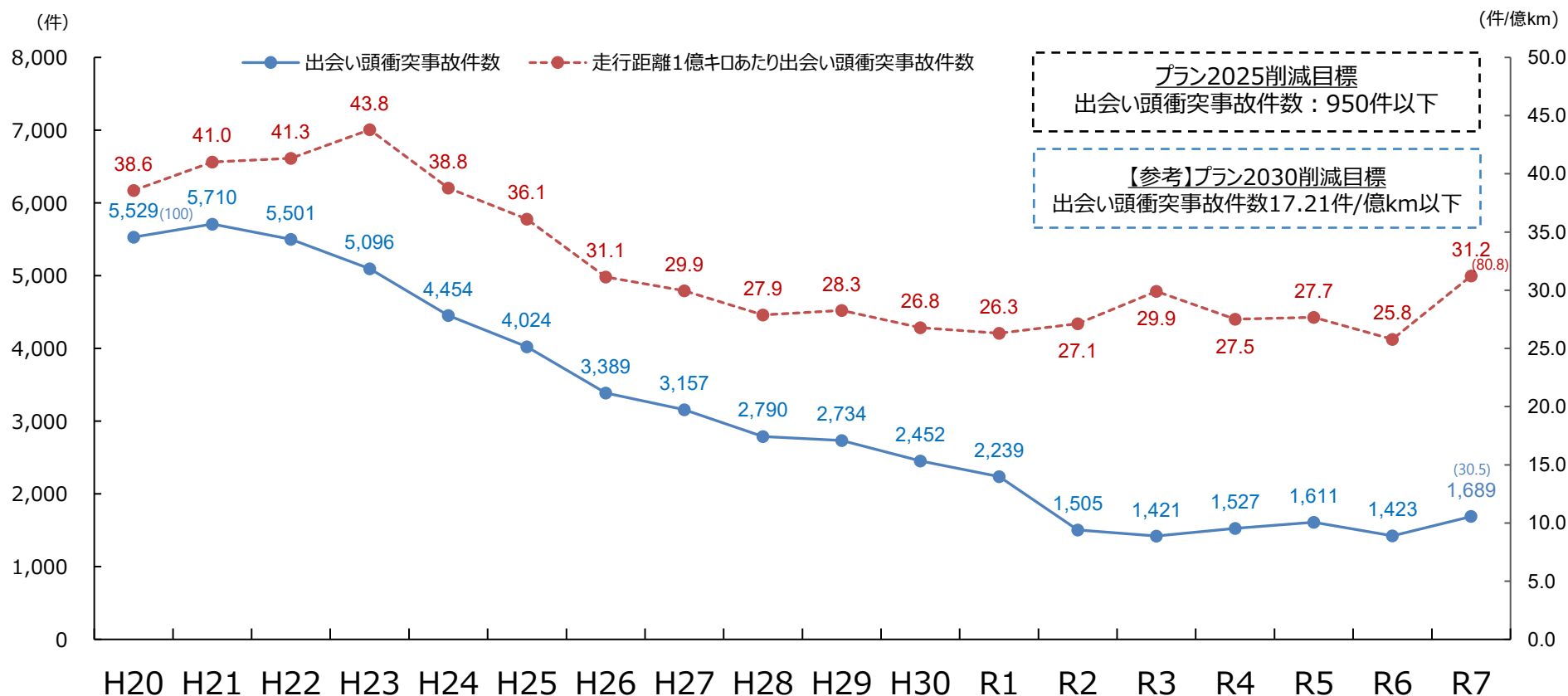


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

タクシーによる走行距離1億キロあたりの出会い頭衝突事故件数の推移

- タクシーによる令和7年の走行距離1億キロあたりの出会い頭衝突事故件数は31.2件/億kmであった。
- 令和元年と比較して令和7年の走行距離1億あたりの出会い頭衝突事故件数件数は、4.9件/億km増加した。

タクシーによる出会い頭衝突事故件数と
走行距離1億キロあたりの出会い頭衝突事故件数の推移



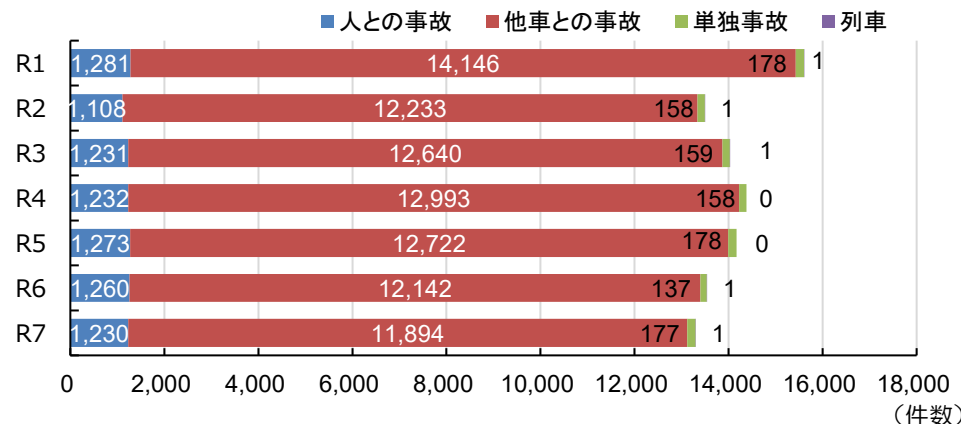
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

○ トラックの事故類型としては、「**追突**」が全体の約4割にあたる5,221件発生しており、最多。追突による**死亡事故**も36件発生している。

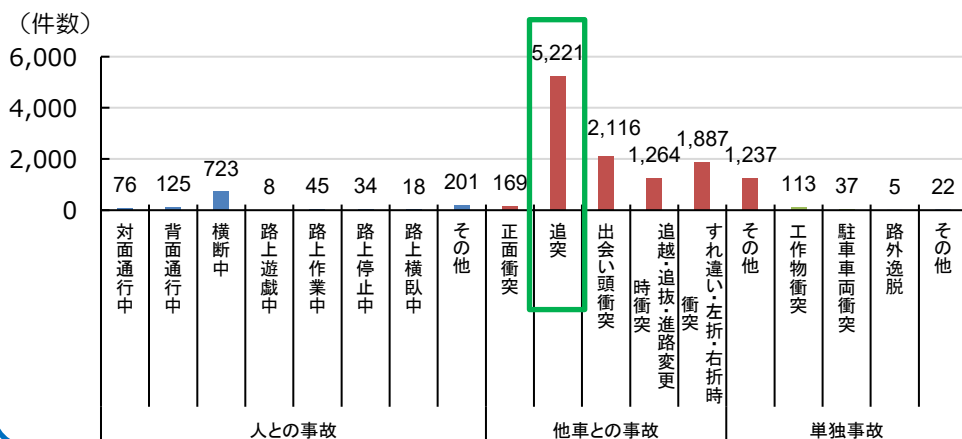
○ トラックの死亡事故事故類型としては、「**横断中**」の人との事故、「**追突**」の他車との事故が多い。

トラックの事故類型

○事故類型別件数

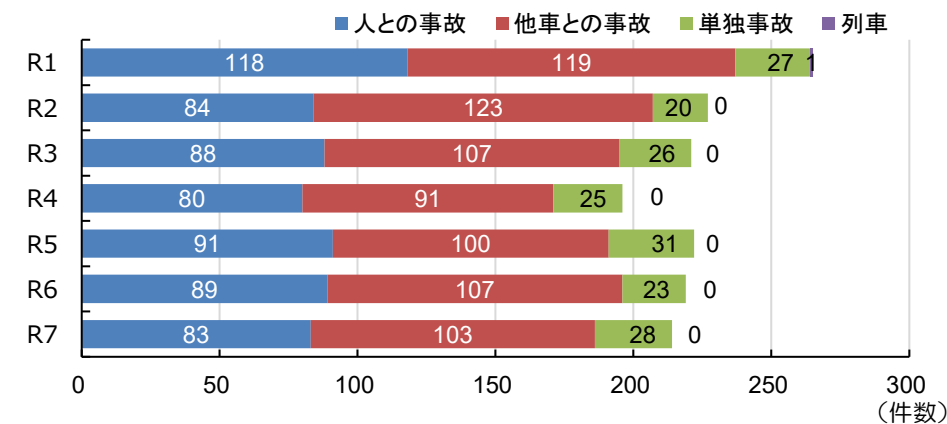


○令和7年事故類型別事故件数の内訳

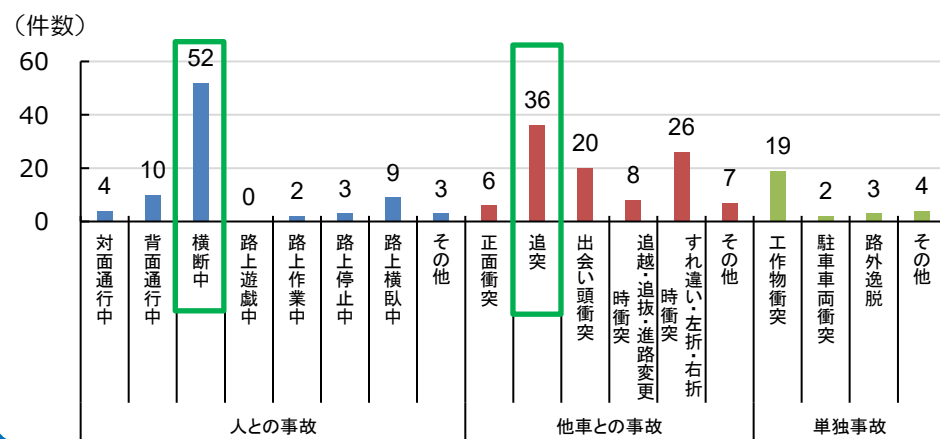


トラックの死亡事故類型

○事故類型別死亡事故件数



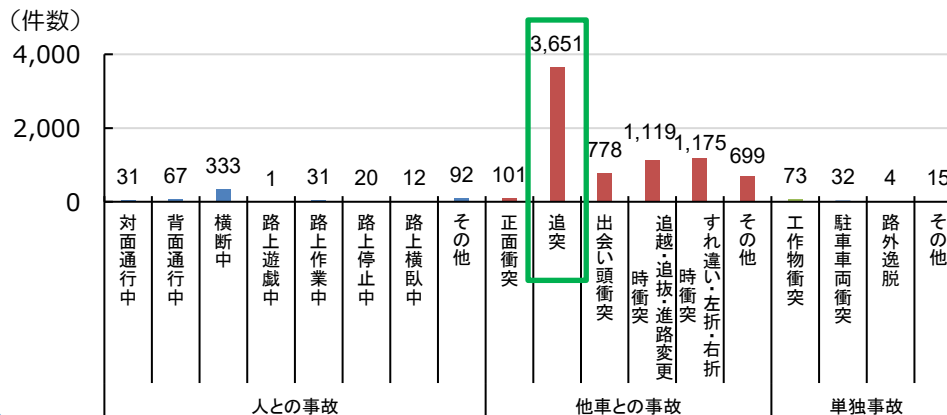
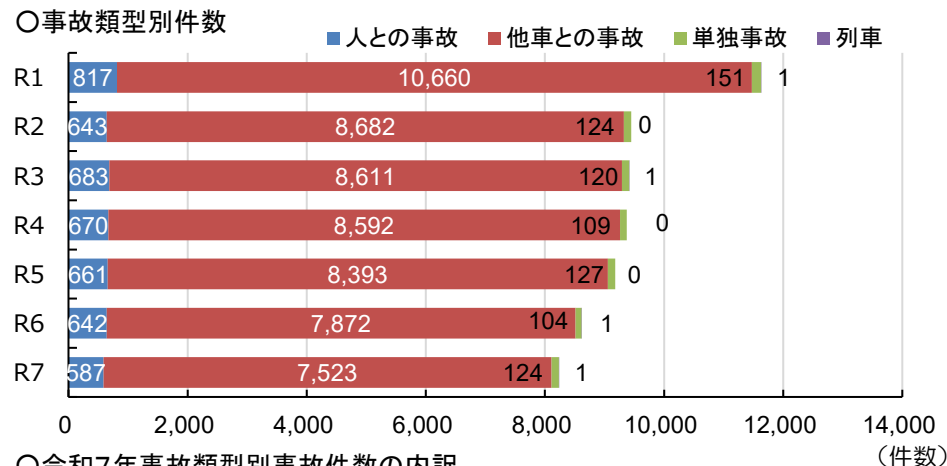
○令和7年事故類型別死亡事故件数の内訳



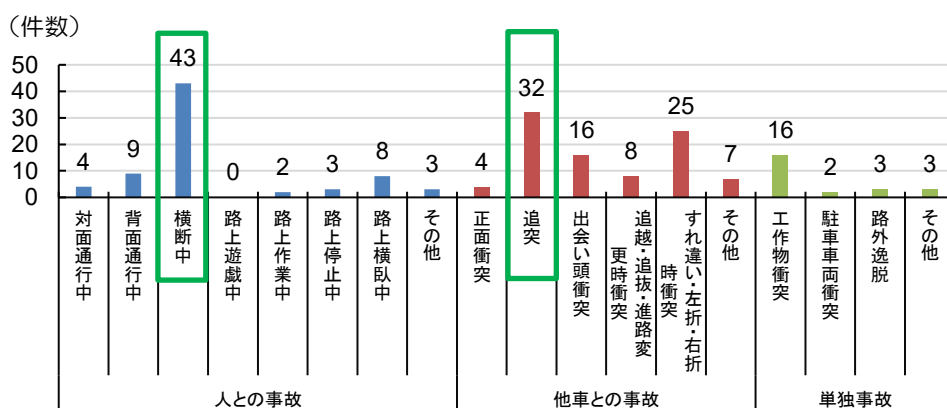
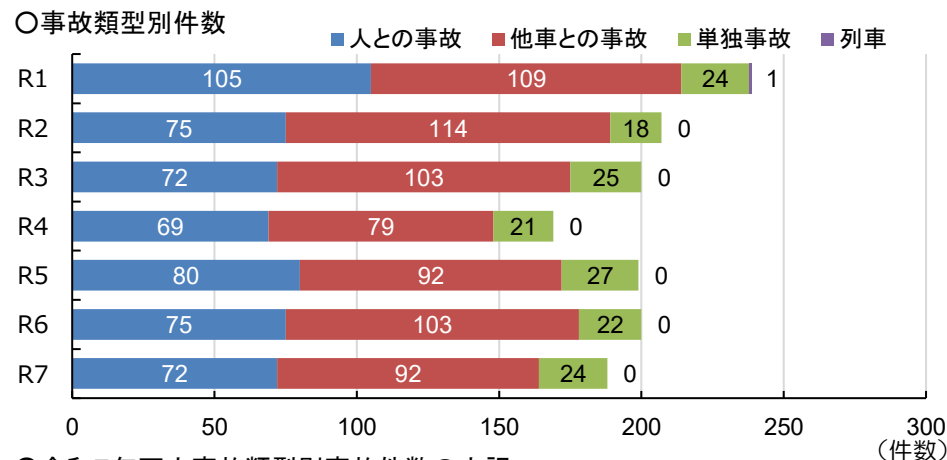
業態別の特徴的な事故(軽貨物以外のトラック)

- 軽貨物以外のトラックの事故類型としては、「**追突**」が全体の約4割強にあたる3,651件発生しており、最多。追突による**死亡事故も32件発生**している。
- 軽貨物以外のトラックの死亡事故事故類型としては、「**横断中**」の人との事故、「**追突**」の他車との事故が多い。

軽貨物以外のトラックの事故類型



軽貨物以外のトラックの死亡事故類型

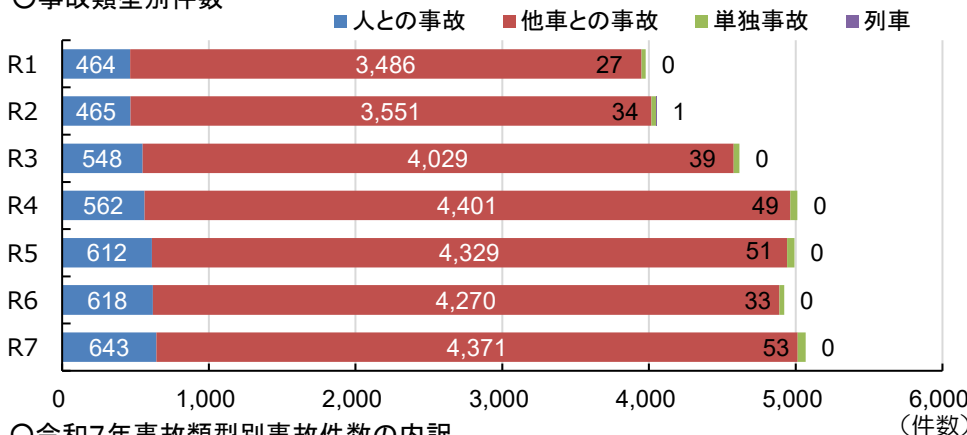


出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

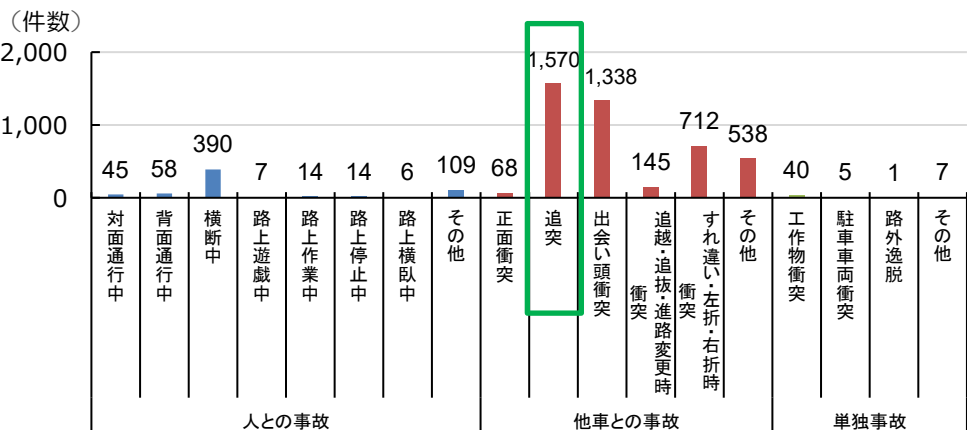
- 軽貨物の事故類型としては、「**追突**」が全体の約3割にあたる1,570件発生しており、最多。追突による**死亡事故も4件発生**している。
- 軽貨物の死亡事故事故類型としては、「**横断中**」の**人との事故が最も多い**。

軽貨物の事故類型

○事故類型別件数

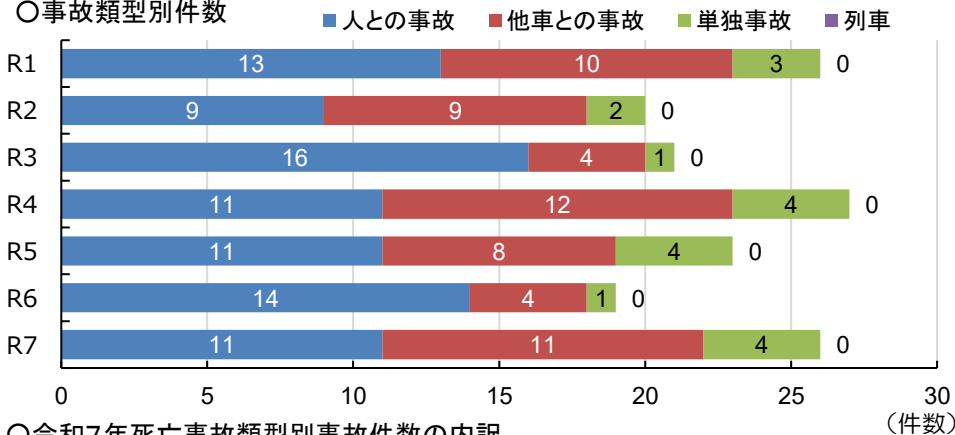


○令和7年事故類型別事故件数の内訳

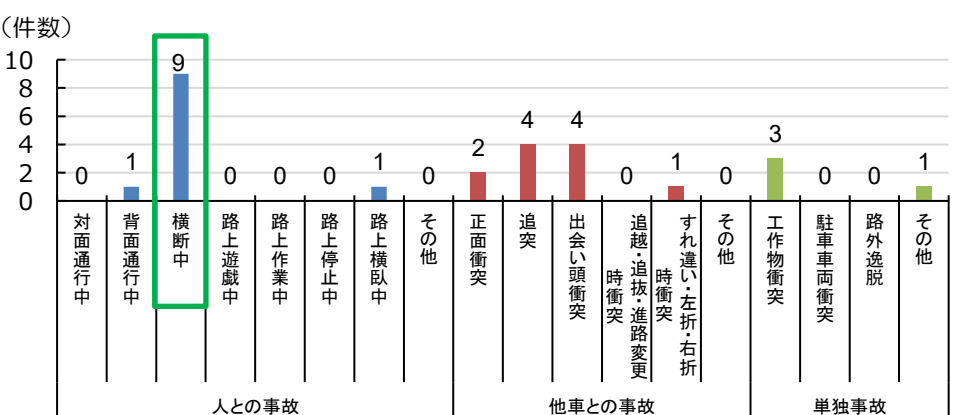


軽貨物の死亡事故類型

○事故類型別件数

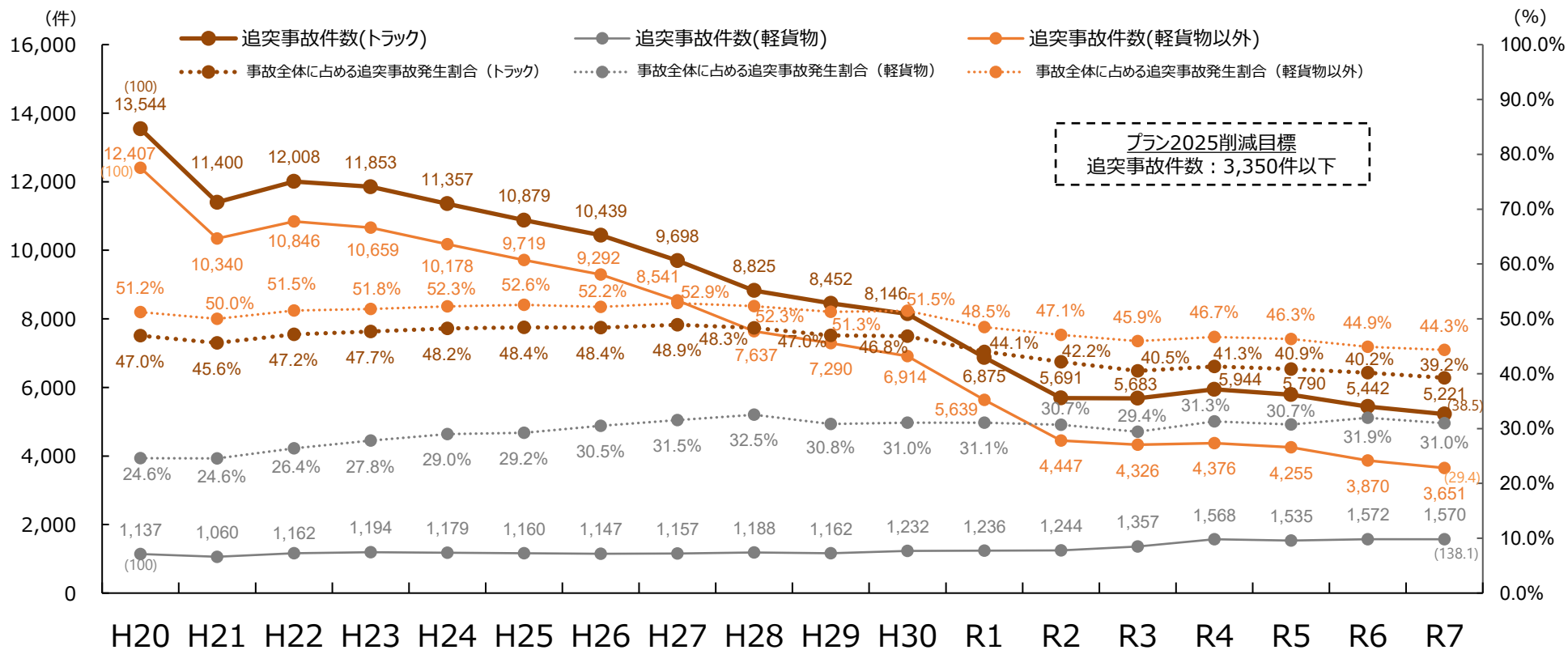


○令和7年死亡事故類型別事故件数の内訳



- トラックによる令和7年の追突事故件数は5,221件で、令和元年と比較して1,654件減であった。
- トラック事故全体に占める追突事故件数の令和7年の発生割合は39.2%で、令和元年と比較して4.9pt減であった。

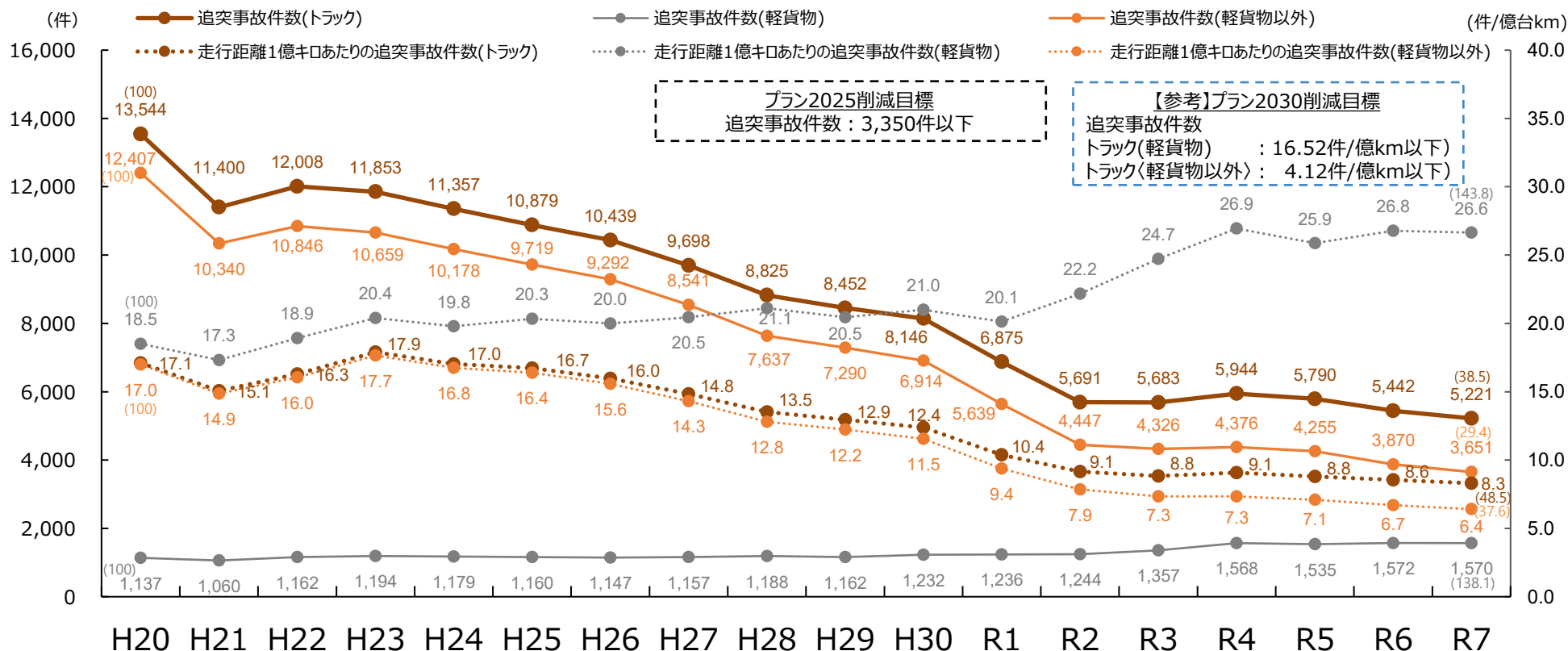
トラックによる追突事故件数と事故発生割合



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

- トラックによる令和7年の走行距離1億キロあたりの追突事故件数は8.3件/億kmであった。
- 令和元年と比較して令和7年の走行距離1億あたりの追突事故件数件数は、2.1件/億km減少した。

トラックによる追突事故件数と 走行距離1億キロあたりの追突事故件数の推移

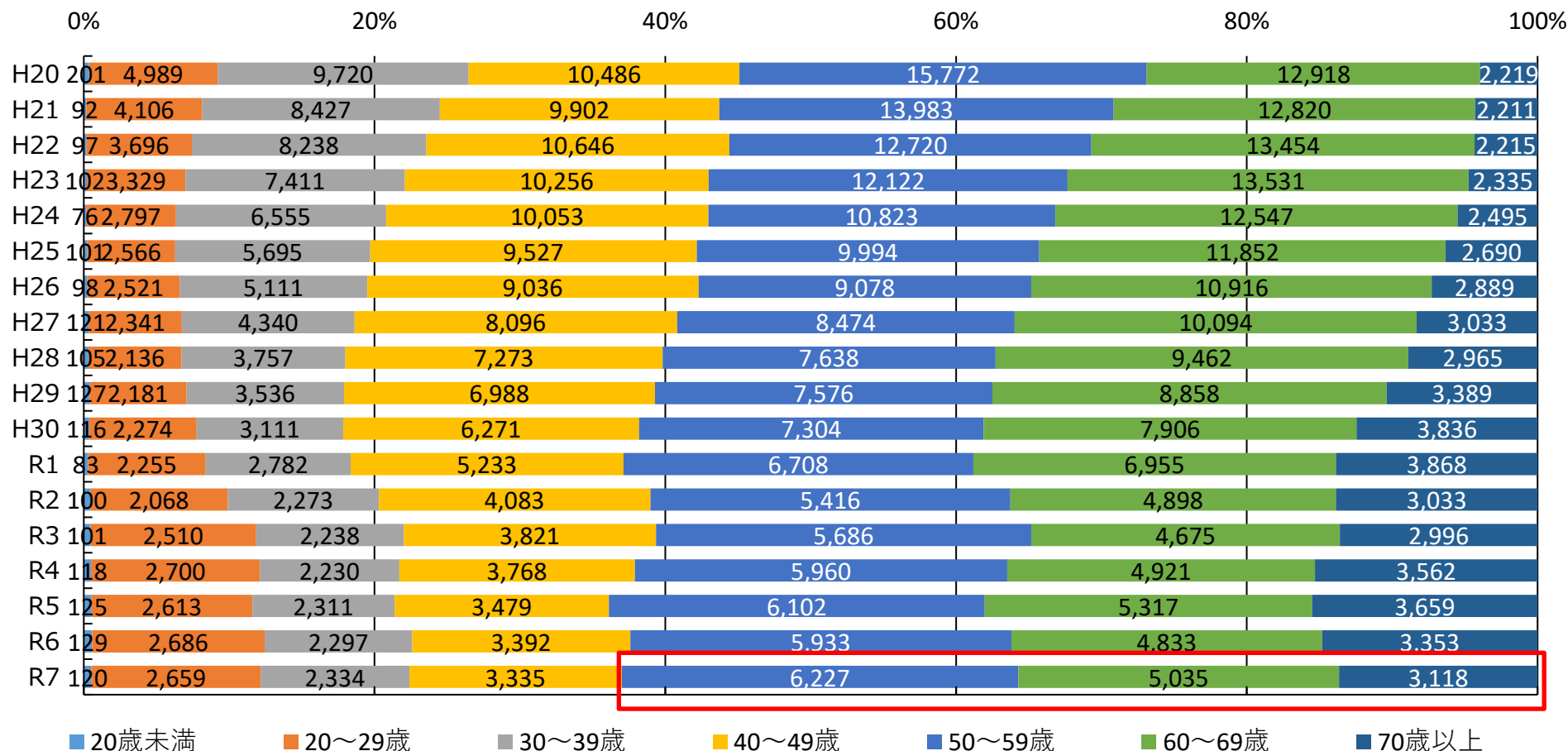


出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

運転者の年齢層別事故の推移(事業用自動車)

○ 事業用自動車の事故のうち、50歳以上の運転者による事故の割合が約6割を占める。

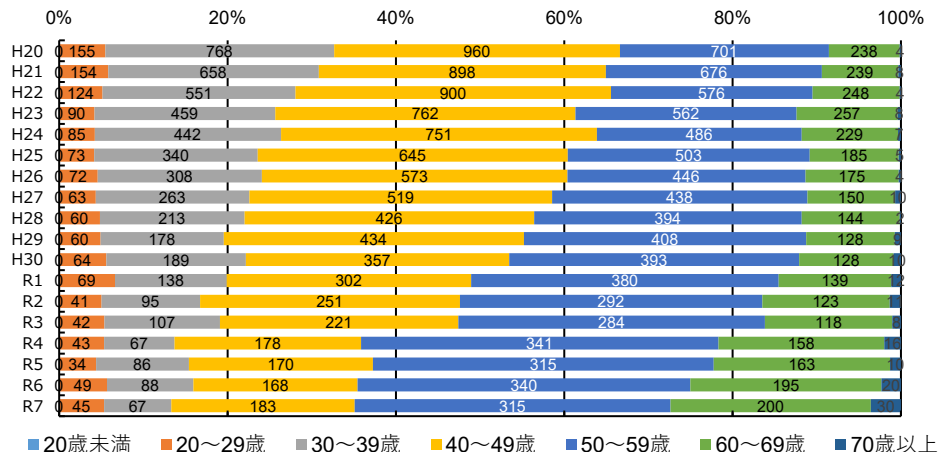
事業用自動車全体



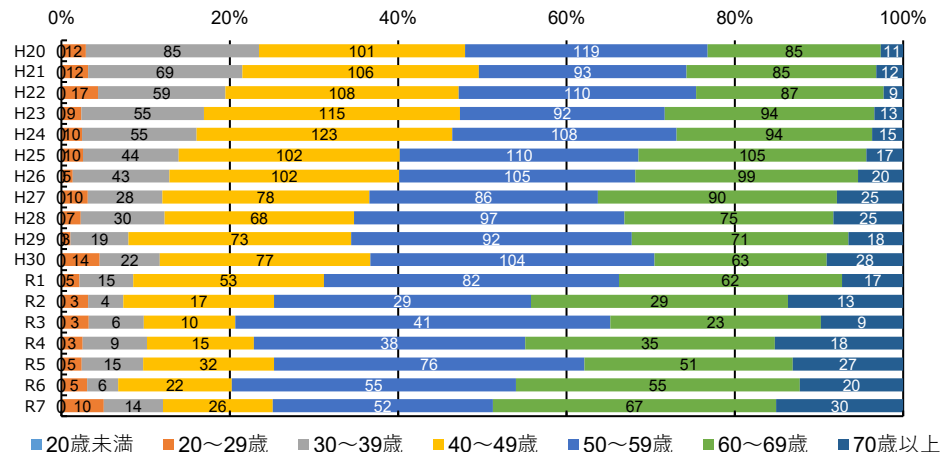
運転者の年齢層別事故の推移(バス、タクシー)

- バスは、50歳以上の運転者による事故の割合が増加傾向。
- タクシーは、近年59歳以下運転者による事故の割合が増加傾向。

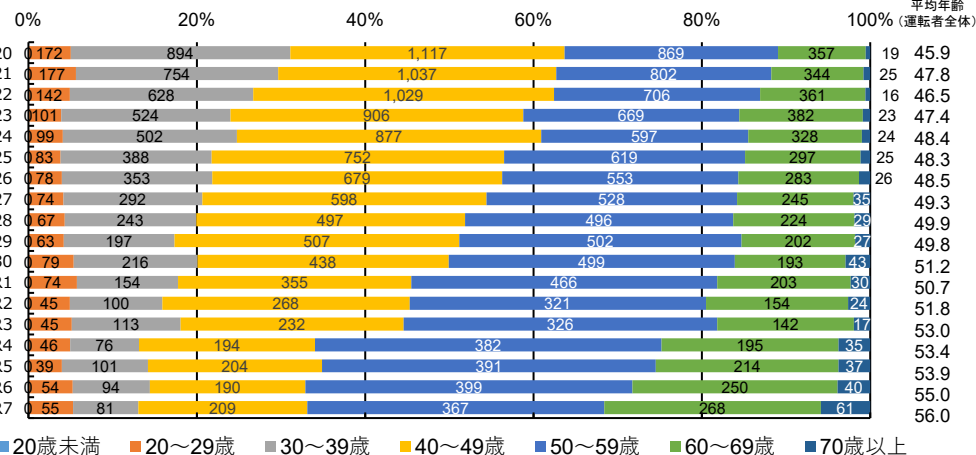
乗合バス



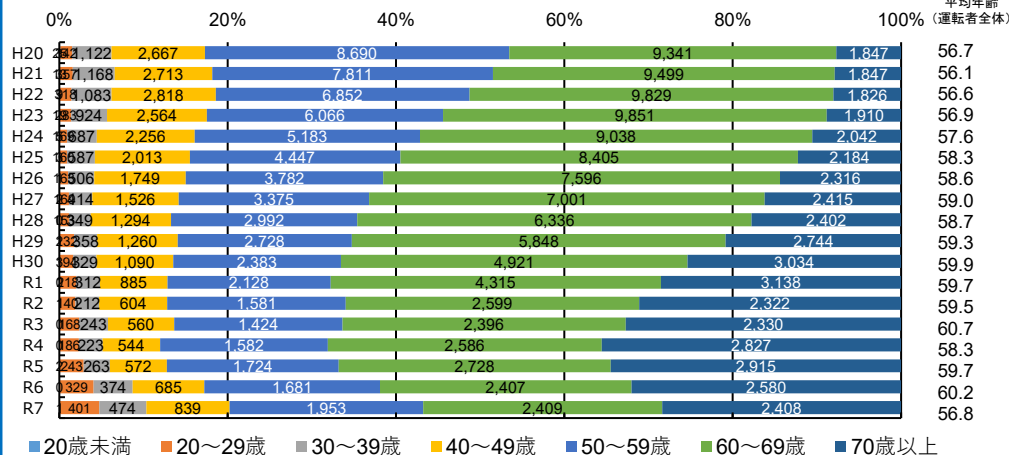
貸切バス



バス



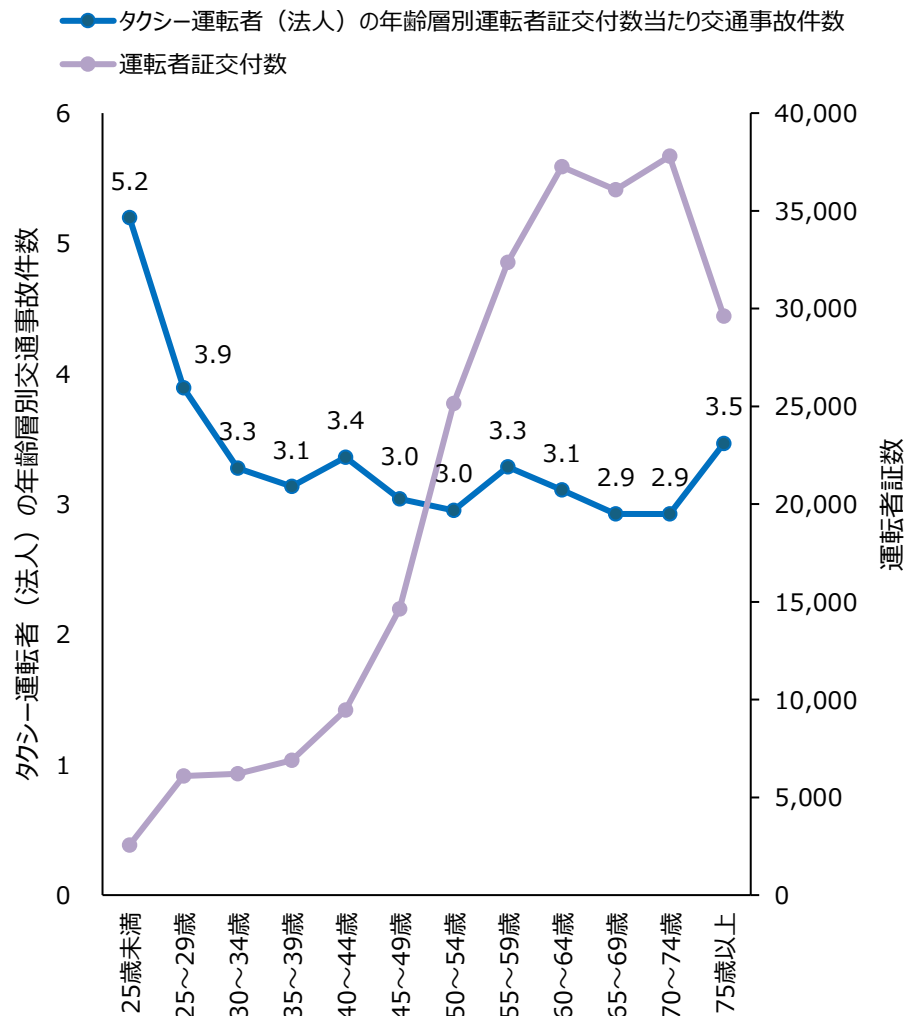
タクシー



年齢層別の運転者証交付数に対する事故件数(タクシー)

○ タクシーは、29歳以下の若年層や75歳以上の運転者による事故率が高い。この傾向は、自動車事故全体でも同様である。

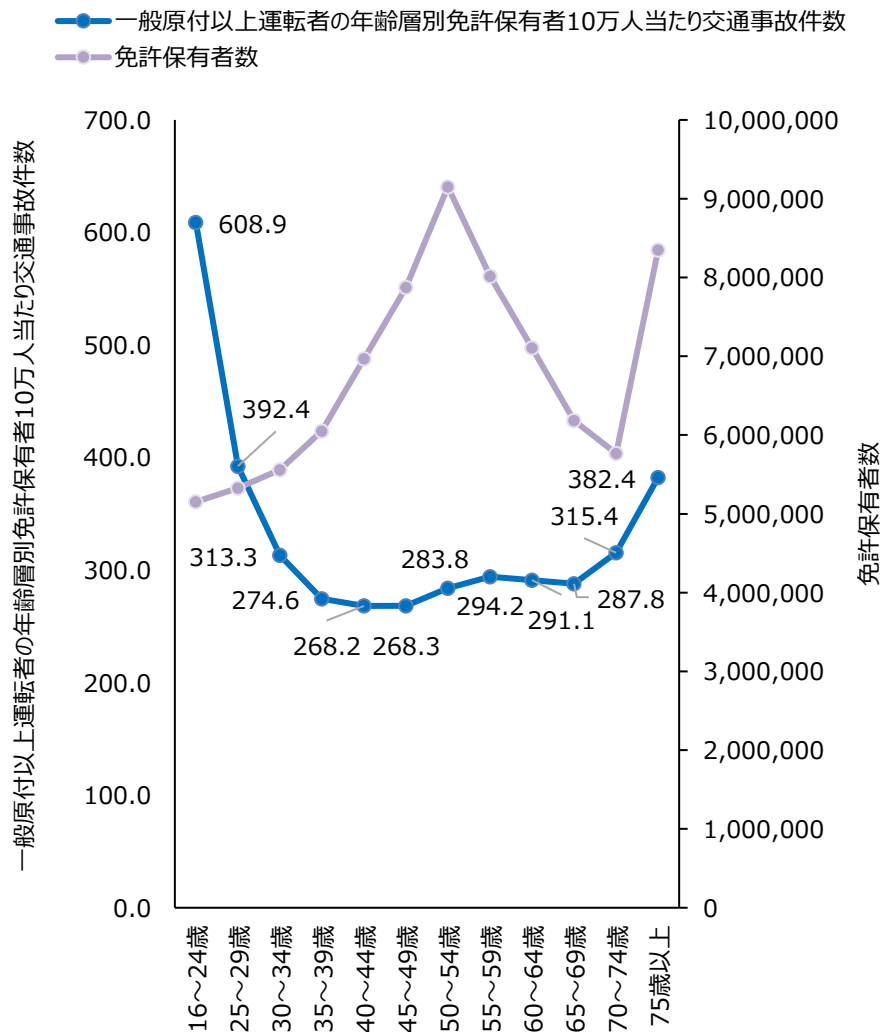
タクシー



※ 本ページに限りタクシーは法人のみのデータ

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」（令和7年）
（一社）全国ハイヤー・タクシー連合会（令和7年3月）

参考（自動車全体）

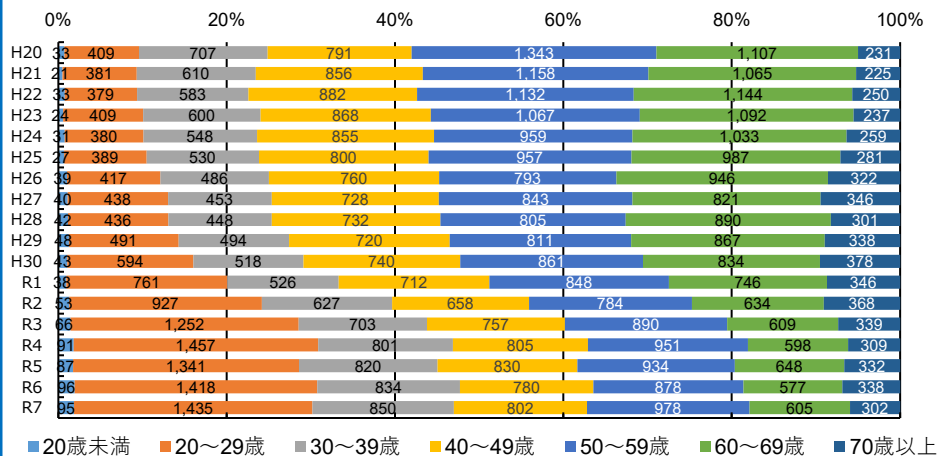


出典：警察庁「交通事故の発生状況」（令和7年）

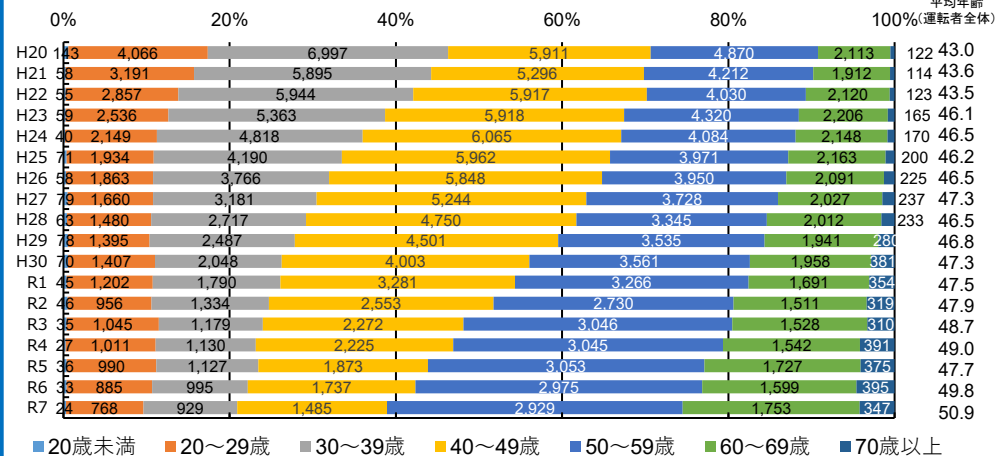
運転者の年齢別層事故の推移(トラック、事業用自動車)

- 軽貨物は、20～29歳の運転者による事故の割合が増加傾向。
- 軽貨物以外のトラックは、50歳以上の運転者による事故の割合が増加傾向。

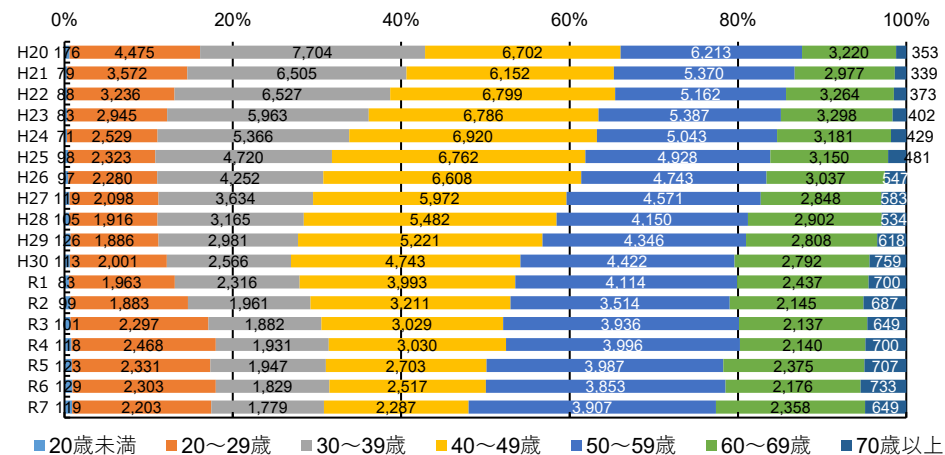
軽貨物



軽貨物以外のトラック



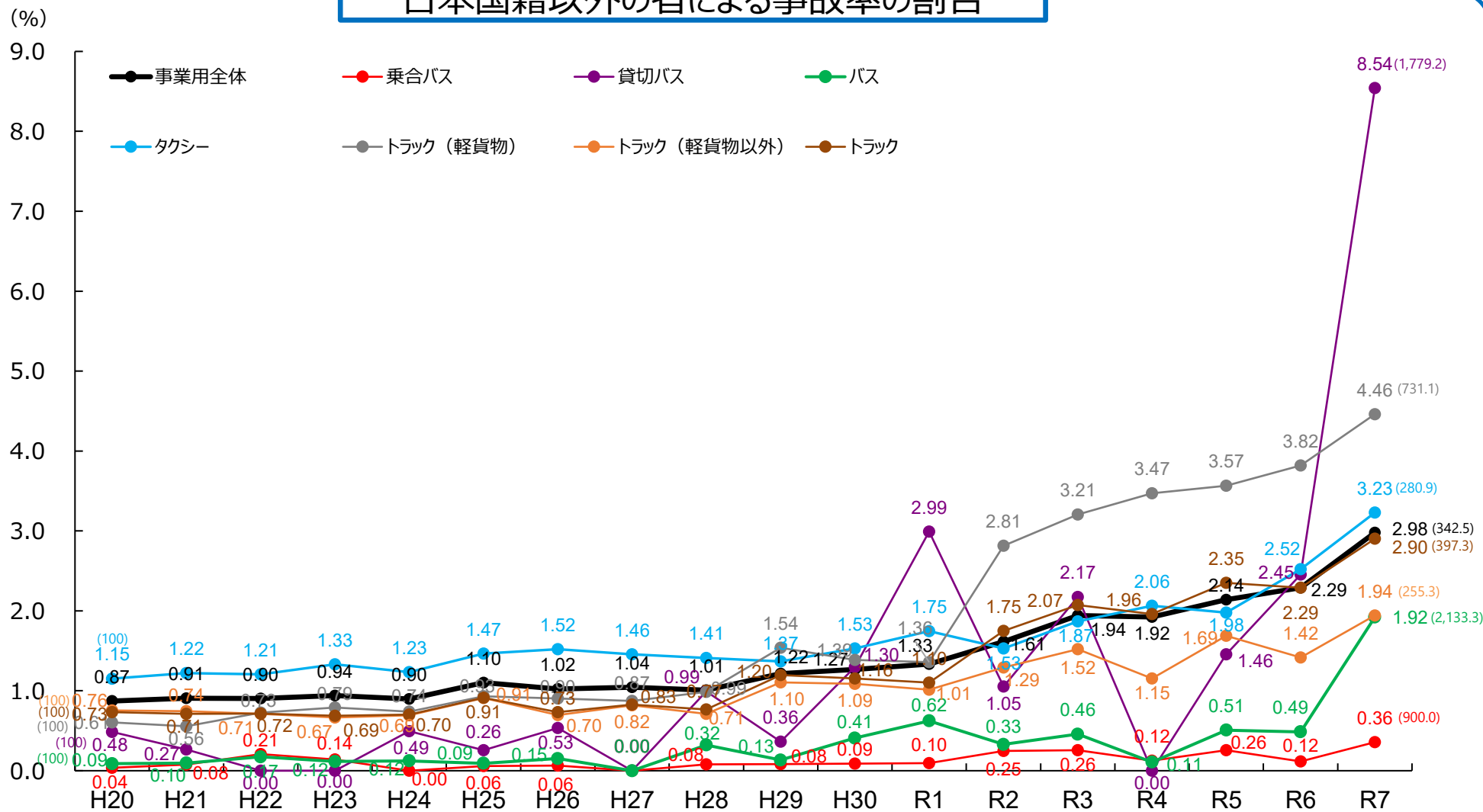
トラック



日本国籍以外の者における事故件数の割合

○ 日本国籍以外の者における事故件数の割合は事業用全体において年々増加傾向にあり、令和7年中に発生した事故においては、貸切バスと軽貨物の事故率が高い。

日本国籍以外の者による事故率の割合



事業用自動車総合安全プラン2025での目標値に対する最終結果

● プラン2025において設定した目標について、達成状況は以下のとおりである（7件／22件達成）

		全体目標					各業態の個別目標
		人身事故 件数	24時間死者数 (30日以内死者数)	重傷者数	乗客 死者数	飲酒 運転	
全体	目標	16,500件 以下	225人以下 (260人以下)	2,120人以下		0件	
	実績	22,828件	255人 (289人)	2,110人		38件	
バス	目標	800件以下	10人以下	150人以下	0人	0件	
	実績	1,041件	9人	141人	0人	0件	
乗合バス	目標						車内事故件数 85件以下
	実績						292件
貸切バス	目標						乗客の負傷事故件数 20件以下
	実績						10件
タクシー	目標	6,600件以下	25人以下	690人以下	0人	0件	出会い頭衝突事故件数 950件以下
	実績	8,485件	29人	721人	2人	4件	1,689件
トラック	目標	9,100件以下	190人以下	1,280人以下		0件	追突事故件数 3,350件以下
	実績	13,302件	217人	1,248人		34件	5,221件